



公立大学法人
神戸市外国語大学

神戸市外国語大学データ集

データでみる神戸市外大

2019 年度



【目次】

0	概要	1
1	歴史	2
1-1	沿革	2
1-2	歴代学長	3
1-3	累計卒業生数	3
2	教育	4
2-1	学生数	4
2-2	入試実施状況	4
2-3	出身地域別入学者割合	6
2-4	減免制度・奨学金制度利用状況	7
2-5	就職状況	8
2-6	資格等取得状況	9
2-7	語学運用能力の成長	11
2-8	課外活動状況	13
3	研究	17
3-1	科学研究費助成事業	17
3-2	学術論文	21
3-3	研究支援事業	31
4	国際交流	32
4-1	留学状況	32
4-2	国際交流協定	36
5	地域貢献・地域連携	38
5-1	地域行政、団体などとの協力	38
5-2	市民講座・公開講座等	39
5-3	学生ボランティア活動	40
6	教職員	41
6-1	教員数	41
6-2	職員数	41
7	財務状況	42
8	図書館	43

※このデータ集は、原則として前年度（2018年度）時点での状況をまとめているが、一部2019年度の情報が記載されている項目もある

0 概要

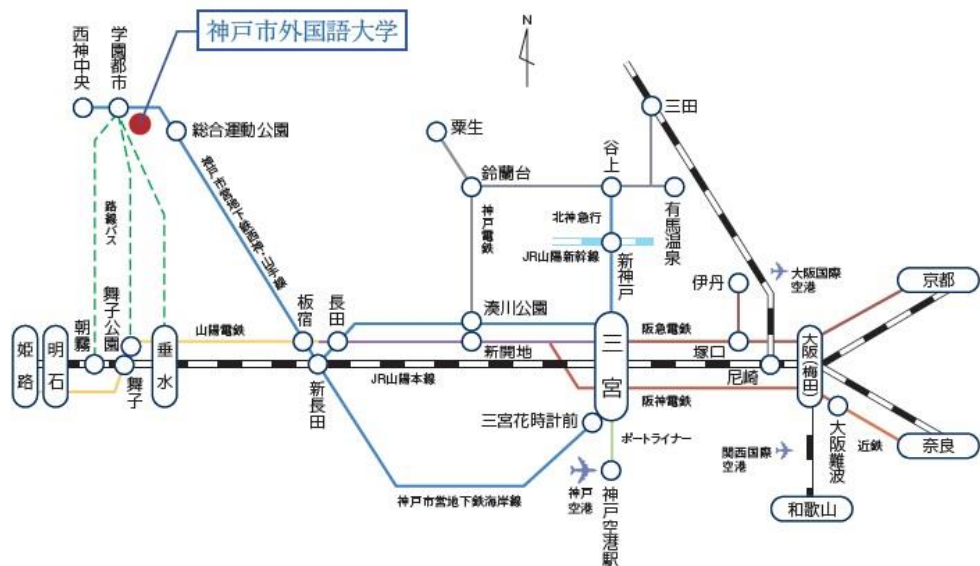
■大学名称 公立大学法人 神戸市外国語大学
英語名 : Kobe City University of Foreign Studies

■キャンパス面積 校地面積 : 84,980.4 m²
校舎面積 : 27,398.6 m²

■所在地 〒651-2187
兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1

■設置学部 外国語学部 英米学科
(学部) ロシア学科
中国学科
イスパニア学科
国際関係学科
外国語学部第2部英米学科

(大学院) 外国語学研究科 英語学専攻
ロシア語学専攻
中国語学専攻
イスパニア語学専攻
国際関係学専攻
日本アジア言語文化専攻
英語教育学専攻
文化交流専攻



1 歴史

1-1 沿革

- 1946 神戸市立外事専門学校を設立
- 1949 神戸市外国語大学へ昇格（外国語学部 to 英米・ロシア・中国の3学科設置）
- 1950 短期大学部を併設
- 1951 外国学研究所設置
神戸市立外事専門学校を廃止
- 1953 大学に外国語学部第2部英米学科を新設
語学文学課程、法経商課程の2コースを設置
- 1954 教職課程を設置
- 1955 短期大学部を廃止
- 1962 学部にイスパニア学科を増設
- 1967 大学院外国語学研究科（修士課程）を設置
- 1986 神戸研究学園都市の現学舎に全学移転
- 1987 学部に国際関係学科を増設
第2部に司書課程を設置
- 1991 大学院外国語学研究科に国際関係学専攻及び日本語日本文化専攻を増設
（1999年 日本語日本文化専攻は日本アジア言語文化専攻に名称変更）
- 1994 カリキュラムを抜本的に改正（学部に総合文化コースを設置）
- 1996 大学院外国語学研究科に博士課程文化交流専攻を設置
- 1999 近隣5大学・1高専にて単位互換授業開講
- 2002 大学院外国語学研究科修士課程で神戸大学大学院文学研究科博士前期課程（修士課程）と
単位互換授業開講
- 2004 大学院外国語学研究科に英語教育学専攻を設置
- 2007 公立大学法人に移行
第1期中期計画スタート
- 2009 新カリキュラム開始
（学部に国際コミュニケーションコースを設置）
- 2013 第2期中期計画スタート
- 2015 修士課程を改編し、新たに「論文コース」と「課題研究コース」を設置（英語教育学専攻を除く）
- 2016 模擬国連世界大会を開催
- 2019 第3期中期計画スタート

1-2 歴代学長

神戸市立外事専門学校 校長	氏名	任期
	金田 近二	1946.5.3～1949.3.31

神戸市外国語大学 学長	氏名	任期
	金田 近二	1949.4.1～1954.6.6
	木方 庸助	1954.6.7～1960.6.6
	本田 実	1960.6.7～1966.6.6
	山本 守	1966.6.7～1970.6.6
学長職務代行	林 雪光	1970.6.7～1973.6.30
	林 雪光	1973.7.1～1979.6.30
	田島 博	1979.7.1～1983.6.30
	林 一郎	1983.7.1～1987.6.30
学長職務代行	行田 良雄	1987.7.1～1987.7.31
	行田 良雄	1987.8.1～1993.7.31
	須藤 淳	1993.8.1～1999.7.31
	東谷 穎人	1999.8.1～2005.7.31
	木村 榮一	2005.8.1～2011.3.31
	船山 仲他	2011.4.1～2017.3.31
	指 昭博	2017.4.1～

1-3 累計卒業生数

■学部（2019年3月31日現在）

学部・学科		卒業生数
外国語学部	英米学科	7,468
	ロシア学科	2,160
	中国学科	2,482
	イスパニア学科	1,944
	国際関係学科	2,280
外国語学部第2部 英米学科		5,596
合計		21,930

■大学院（2019年3月31日現在）

課程・専攻		修了者数
修士課程	英語学専攻	279
	ロシア語学専攻	45
	中国語学専攻	45
	イスパニア語学専攻	64
	国際関係学専攻	169
	日本アジア言語文化専攻	161
	英語教育学専攻	102
	合計	865
博士課程	文化交流専攻	※74
合計		939

※博士課程（文化交流専攻）における74は、博士の学位授与数。

2 教育

2-1 学生数

■学部

※2018年5月1日現在

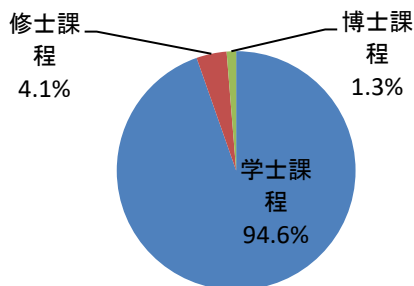
学部・学科別	定員	1年		2年		3年		4年		合計							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
外国語学部	英米学科	560	150	54	96	151	55	96	173	56	117	212	82	130	686	247	439
	ロシア学科	160	44	20	24	47	17	30	40	9	31	71	26	45	202	72	130
	中国学科	200	53	15	38	57	10	47	56	8	48	73	22	51	239	55	184
	イスパニア学科	160	43	19	24	42	10	32	50	18	32	69	21	48	204	68	136
	国際関係学科	320	94	26	68	91	30	61	94	26	68	123	49	74	402	131	271
学部計	1400	384	134	250	388	122	266	413	117	296	548	200	348	1733	573	1160	
外国語学部第2部英米学科	320	90	29	61	97	42	55	112	43	69	116	44	72	415	158	257	
合計	1720	474	163	311	485	164	321	525	160	365	664	244	420	2148	731	1417	

■大学院

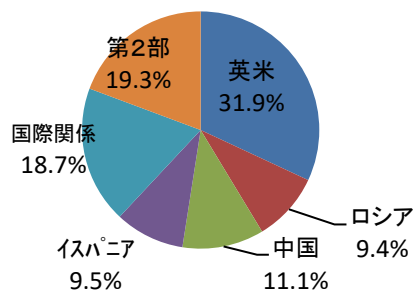
※2018年5月1日現在

課程・専攻別	定員	1年		2年		3年		4年		合計				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
修士課程	英語学専攻	20	6	3	3	7	2	5	/	/	/	13	5	8
	ロシア語学専攻	10	2	1	1	0	0	0	/	/	/	2	1	1
	中国語学専攻	10	3	0	3	2	2	0	/	/	/	5	2	3
	イスパニア語学専攻	10	2	1	1	0	0	0	/	/	/	2	1	1
	国際関係学専攻	20	8	0	8	3	0	3	/	/	/	11	0	11
	日本アジア言語文化専攻	24	11	4	7	9	2	7	/	/	/	20	6	14
	小計	94	32	9	23	21	6	15	/	/	/	53	15	38
	英語教育学専攻	20	10	4	6	30	8	22	0	0	0	40	12	28
合計	114	42	13	29	51	14	37	0	0	0	93	27	66	
博士課程	文化交流専攻	36	7	2	5	8	5	3	14	4	10	29	11	18
合計	150	49	15	34	59	19	40	14	4	10	122	38	84	

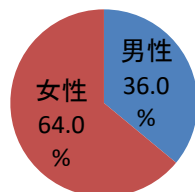
課程別学生数(学士・修士・博士)



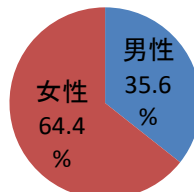
学科別学生数(学部)



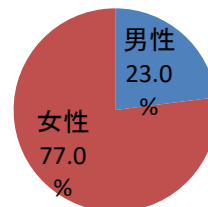
英米学科



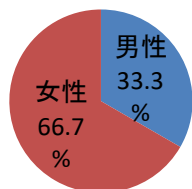
ロシア学科



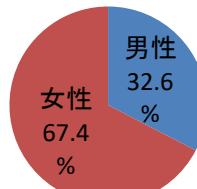
中国学科



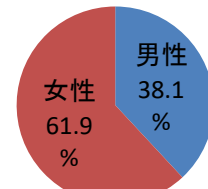
イスパニア学科



国際関係学科



第2部英米学科

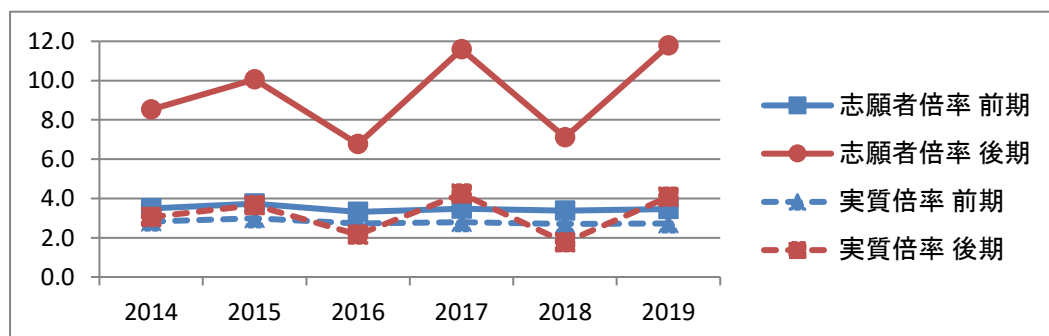


2-2 入試実施状況

■2019年度入学試験実施状況（2018年度実施）

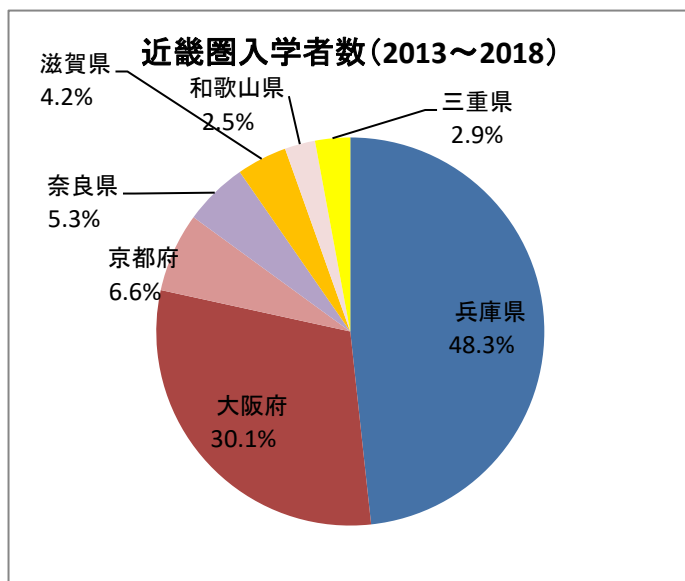
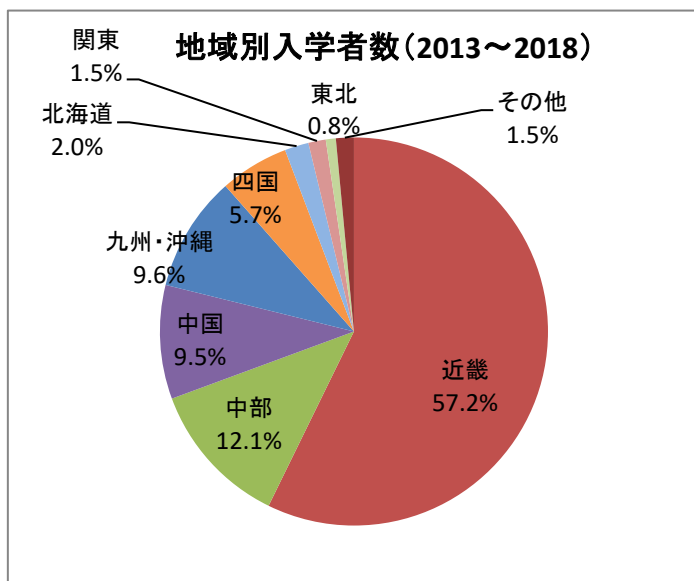
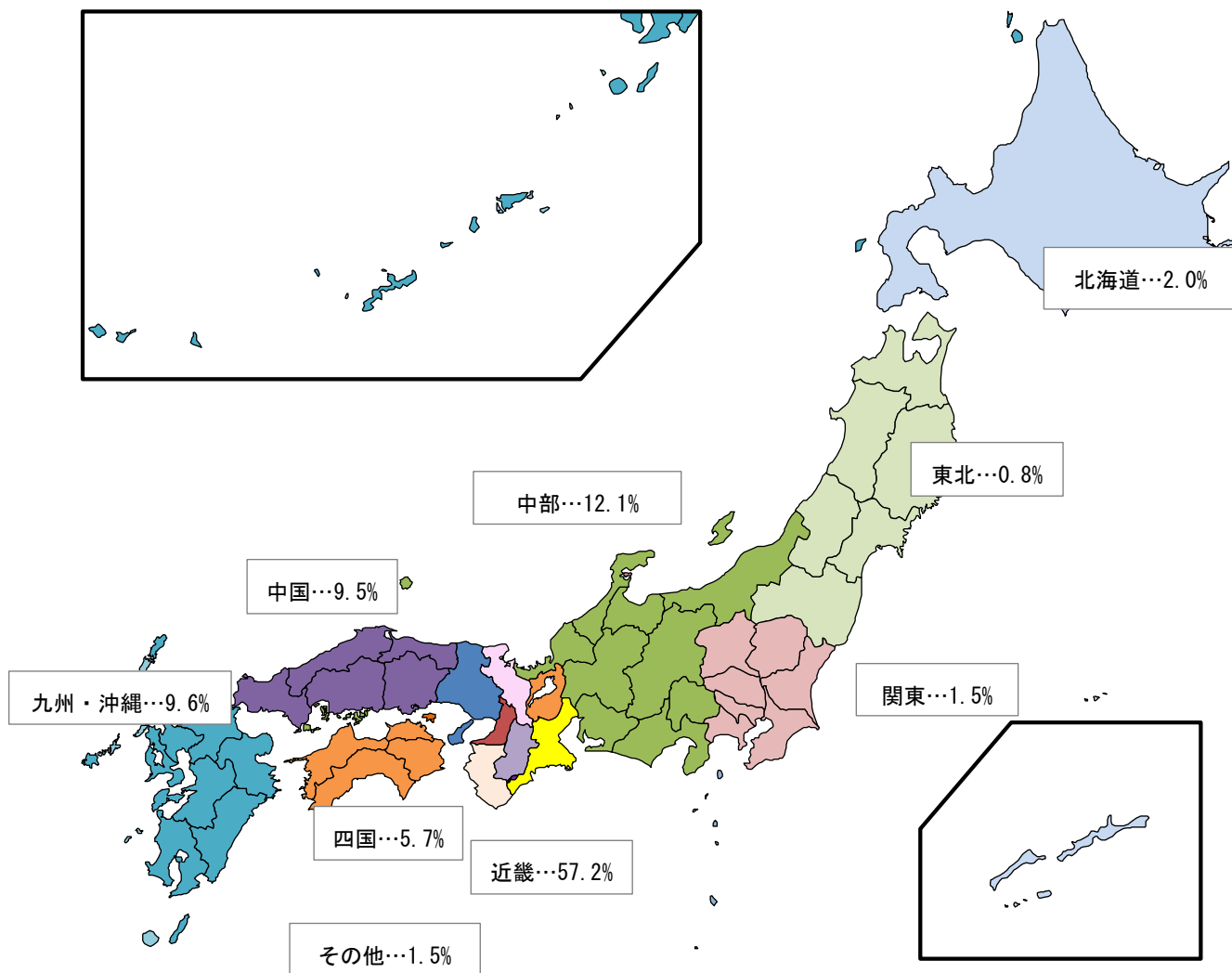
学部 学科別	入試区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者倍率	競争率	昨年度 競争率	
			A	B	C	D		B/A	C/D		
				人	人	人	人	倍	倍	倍	
学部	英米 学科	推薦	市内枠	7	20	20	7	7	2.9	2.9	2.3
			全国枠	7	35	35	10	10	5.0	3.5	3.0
		一般選抜	前期	98	313	297	110	103	3.2	2.7	2.2
			後期	28	262	79	28	20	9.4	2.8	1.7
		特別選抜	帰国	若干名	2	1	1	0			
			外国人		1	1	1	1			
	ロシア 学科	推薦	市内枠	2	5	5	3	3	2.5	1.7	1.5
			全国枠	2	2	2	2	2	1.0	1.0	1.3
		一般選抜	前期	28	121	113	34	33	4.3	3.3	3.3
			後期	8	108	44	8	7	13.5	5.5	2.2
		特別選抜	帰国	若干名	0	0	0	0			
			外国人		0	0	0	0			
中国 学科	推薦	市内枠	3	8	8	2	2	2.7	4.0	2.5	
		全国枠	2	5	5	3	3	2.5	1.7	2.0	
	一般選抜	前期	35	131	126	39	37	3.7	3.2	3.0	
		後期	10	162	63	11	10	16.2	5.7	1.5	
	特別選抜	帰国	若干名	1	1	1	0				
		外国人		0	0	0	0				
部	イスペイン 学科	推薦	市内枠	2	14	14	2	2	7.0	7.0	6.5
			全国枠	2	12	12	3	3	6.0	4.0	4.0
		一般選抜	前期	28	88	86	32	30	3.1	2.7	2.3
			後期	8	78	19	9	8	9.8	2.1	2.0
		特別選抜	帰国	若干名	0	0	0	0			
			外国人		2	2	0	0			
学部計	国際関係 学科	推薦	市内枠	4	10	10	4	4	2.5	2.5	2.8
			全国枠	4	16	16	5	5	4.0	3.2	2.6
		一般選抜	前期	56	165	150	69	65	2.9	2.2	2.4
			後期	16	249	89	16	14	15.6	5.6	1.7
		特別選抜	帰国	若干名	2	1	0	0			
			外国人		2	2	0	0			
学部計	学部計	推薦	市内枠	18	57	57	18	18	3.2	3.2	2.8
			全国枠	17	70	70	23	23	4.1	3.0	2.7
		一般選抜	前期	245	818	772	284	268	3.3	2.7	2.5
			後期	70	859	294	72	59	12.3	4.1	1.8
		特別選抜	帰国	若干名	5	3	2	0			
			外国人		5	5	1	1			
第2部 英米学科	第2部 英米学科	推薦	市内枠	4	13	13	4	4	3.3	3.3	1.3
			全国枠	-	-	-	-	-	-	-	-
		一般選抜	前期	41	173	163	58	55	4.2	2.8	3.8
			後期	15	143	61	15	14	9.5	4.1	1.8
		特別選抜	社会人	20	39	34	19	19	2.0	1.8	2.8
		合計	合計	推薦	市内枠	22	70	70	22	22	3.2
全国枠	17				70	70	23	23	4.1	3.0	2.7
一般選抜	前期			286	991	935	342	323	3.5	2.7	2.7
	後期			85	1,002	355	87	73	11.8	4.1	1.8
特別選抜	社会人			20	39	34	19	19	2.0	1.8	2.8
	帰国 外国人			若干名	5 5	3 5	2 1	0 1			
合計	推薦		小計	39	140	140	45	45	3.6	3.1	2.6
	一般選抜		小計	371	1993	1290	429	396	5.4	3.0	2.5
	特別選抜		小計	20	49	42	22	20	2.5	1.9	2.5
	合計		小計	430	2182	1472	496	461	5.1	3.0	2.5
大学院	大学院	修士課程		57	50	50	40	38	0.9	1.3	1.2
		英語教育学専攻		10	12	12	8	7	1.2	1.5	1.0
		博士課程		12	8	8	8	8	0.7	1.0	1.3

■志願者倍率・実質倍率の推移（学部一般入試）



2-3 出身地域別入学者割合

■過去6年間（2013～2018年度）の出身高校所在地別入学者数（学部のみ）

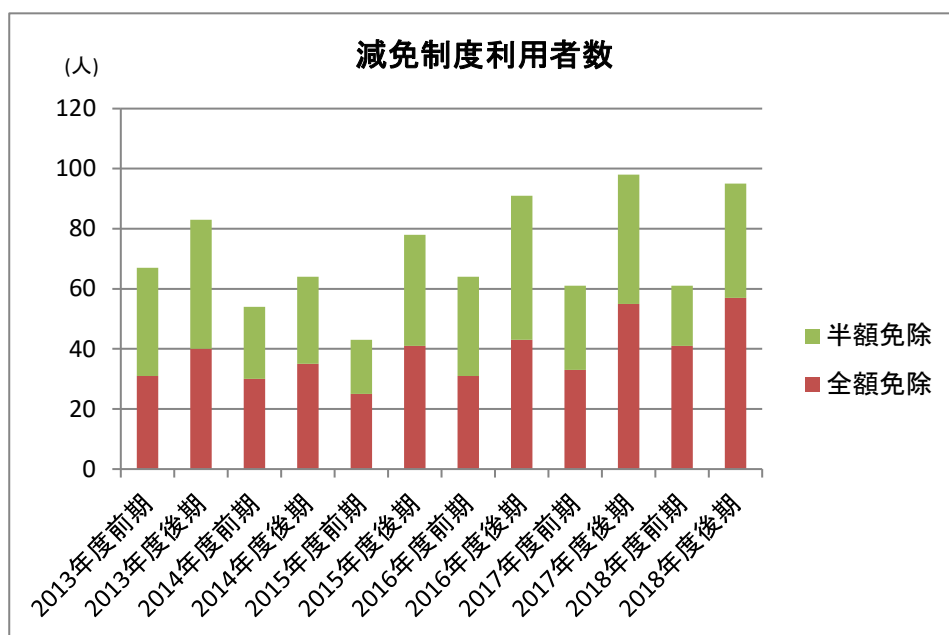


2-4 減免制度・奨学金制度利用状況

本学では、経済的事情を抱える学生に奨学金の受給についての相談や授業料減免制度など、勉強したい意欲をさまざまな面からサポートしています。

■授業料減免制度

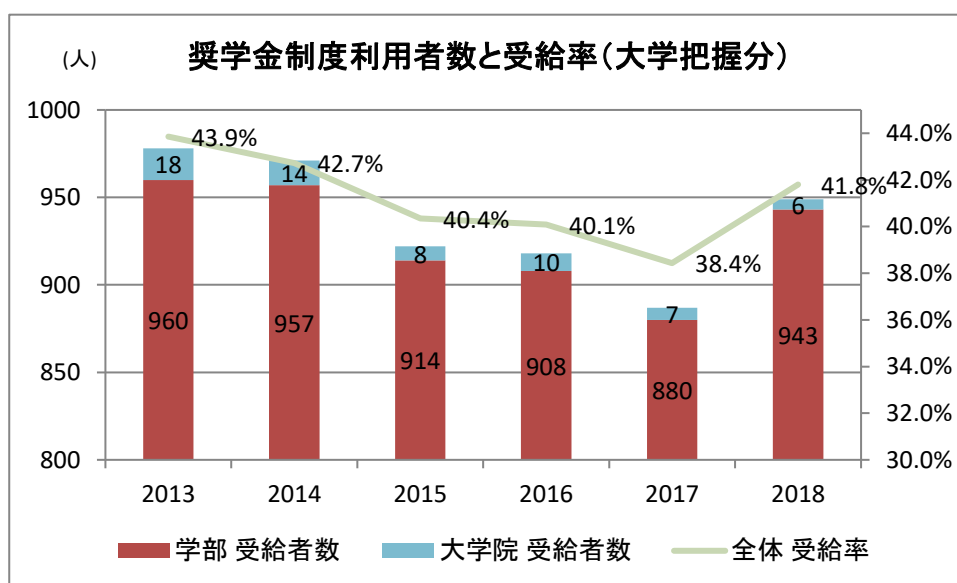
学生の経済状況等に応じて、大学が授業料の全額または半額を免除するもの。



■各種奨学金制度

奨学金には日本学生支援機構をはじめとする各種制度がある。

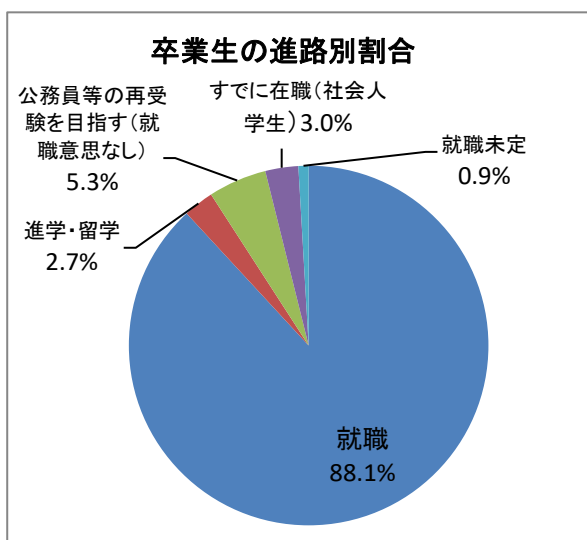
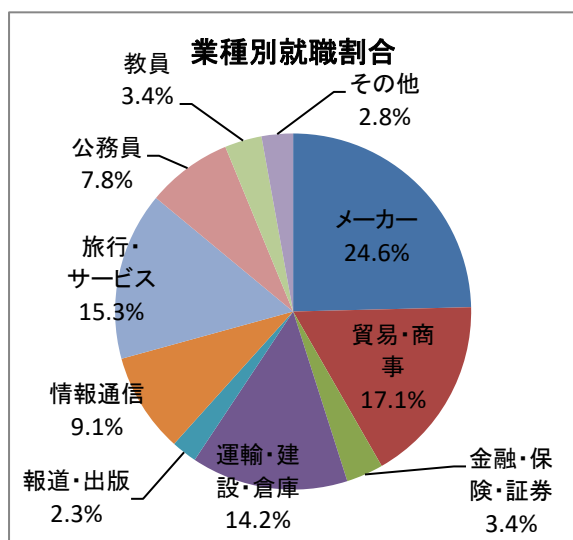
※これ以外にも、直接学生が手続きするもの（地方公共団体独自の奨学金制度など）もある。



2-5 就職状況

■学部卒業生の学科別進路状況（2018年度卒業生）

	卒業 者数	就職											進学・ 留学	公務員 等の再 受験を 目指す (就職 意志な し)	すで に在 職 (社会 人学 生)	就職 未定
		メー カー	貿易・ 商事	金融・ 保険・ 証券	運輸・ 建設・ 倉庫	報道・ 出版	情報 通信	旅行・ サービ ス	公務 員	教員	その 他	合計				
英米学科	159	28	21	2	16	4	12	30	15	8	7	143	6	9	1	0
ロシア学科	43	9	7	2	11	0	2	8	1	0	0	40	1	2	0	0
中国学科	44	14	5	3	8	2	1	3	4	0	2	42	0	2	0	0
イスパニア学科	48	14	11	0	8	1	4	3	2	0	0	43	1	3	0	1
国際関係学科	73	21	13	5	5	1	10	10	5	1	0	71	0	1	1	0
第2部英米学科	71	9	9	1	7	1	6	5	3	4	2	47	4	6	11	3
合計	438	95	66	13	55	9	35	59	30	13	11	386	12	23	13	4



■主な就職先（順不同）

- 【メーカー】 パナソニック、京セラ、三菱電機、古野電気、ダイキン工業、川崎重工、IHI、日立造船、新明和工業、ジェイテクト、堀場製作所、山陽特殊製鋼、日本精工、大和工業、P&Gジャパン、コーセー、シスメックス、アシックス、Toyo Tires、日本ペイント、ノーリツ、デンソーテン、レナウン、グンゼ
- 【貿易・商社】 三菱商事、丸紅、双日、帝人フロンティア、岩谷産業、阪和興業、JFE 商事、ユアサ商事、岡谷鋼機、阪急阪神百貨店、ファーストリテイリング、ニトリ、良品計画、紀伊国屋書店
- 【金融・保険】 リソナ銀行、SMBC 信託銀行、関西みらい FG、東京海上日動火災保険、三井住友海上保険
- 【運輸・倉庫】 関西エアポート、全日本空輸(CA)、スカイマーク(CA,総合職)、ANA 関西空港(GS)、Kスカイ(航空)、ANA 大阪空港(GS)、CKTS(GS)、JALスカイ大阪(GS)、ANA Cargo、日航関西エアカーゴ、日本通運、三菱倉庫、三井倉庫、住友倉庫、阪急阪神エクスプレス、近鉄パナソニックトレーディングサービス、近鉄エクスプレス、住商グローバルロジスティックス、日新郵船ロジスティックス、西日本鉄道(国際物流本部)
- 【旅行・ホテル】 JTBグループ各社、阪急交通社、近鉄・都ホテルズ、阪急阪神ホテルズ、三井不動産ホテルマネジメント、リゾートトラスト
- 【報道・出版・情報・コンサルティング・サービス】 リクルート、楽天、日本ユニシス、コベルコシステム、バンダイナムコ、カプコン、デル、日立コンサルティング、アクセンチュア、電通デジタル、セールスフォースドットコム、JTBパブリッシング、交通新聞社、本州四国連絡高速道路
- 【公務員・政府系機関】 外務省専門職、防衛省、警察庁、防衛省航空自衛隊(パイロット)、航空管制官、大阪航空局、近畿財務局、神戸税関、長崎税関、沖縄地方税関、大阪入国管理局、北海道庁、神戸市役所、長崎市役所、姫路市役所、神奈川県警(語学専門職)、外務省在外公館派遣員、国際交流基金
- 【教員】 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、広島県教育委員会、岡山県教育委員会、横浜市教育委員会

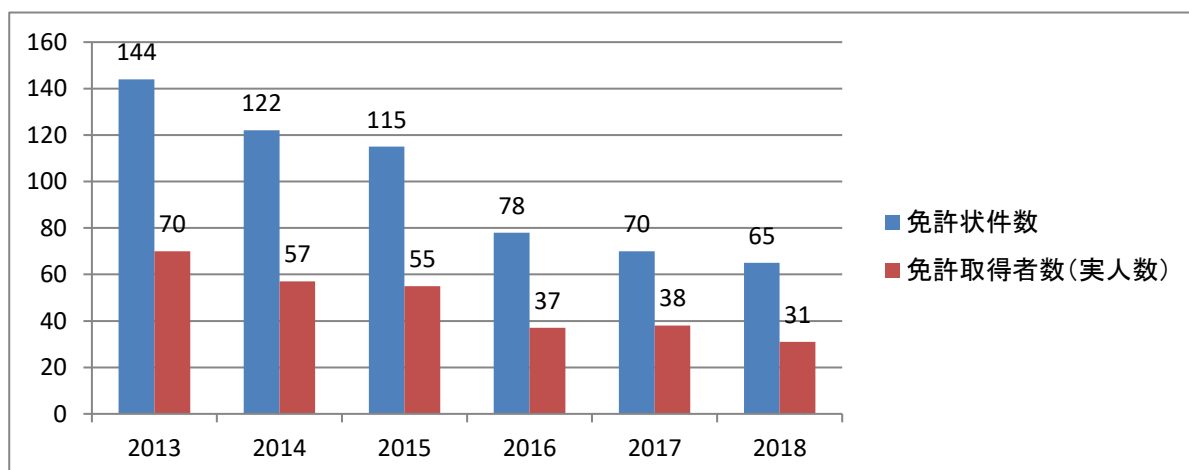
2-6 資格等取得状況

■教員免許

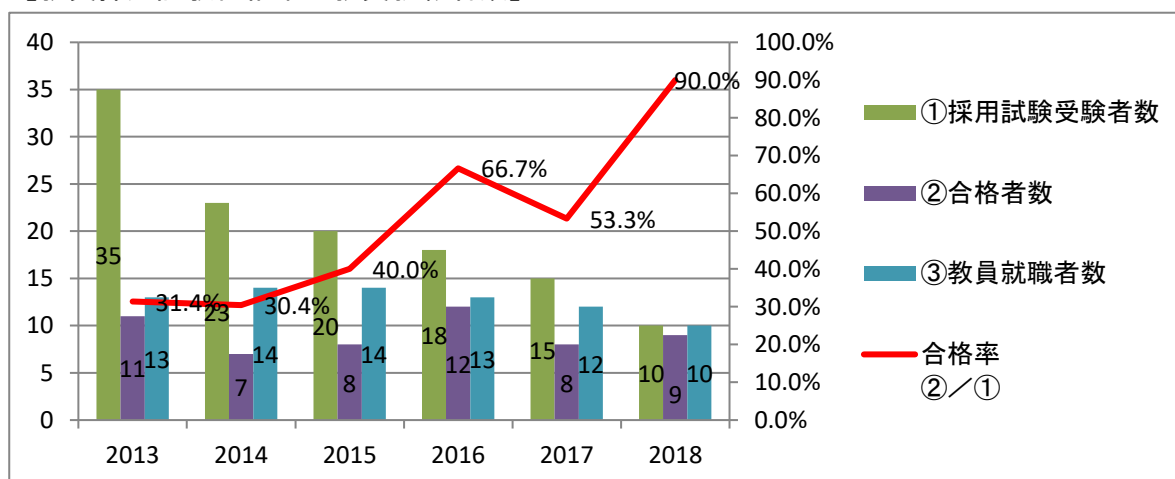
【教員免許状取得状況（科目等履修生除く：一括申請分のみ）】

年度		英語								ロシア語	中国語	イスパニア語	商業	合計	実人数	英語		
		英語	英米	口	中	イ	国関	2部	英語学							英語教育学	合計	
2013	中1種	64	25	2	3	2	13	19	2	2	1	/	69	70	中専免	1	7	8
	高1種	70	28	2	3	2	15	20	2	2	1	0	75		高専免	1	7	8
2014	中1種	46	22	0	4	5	9	6	0	4	4	/	54	57	中専免	1	8	9
	高1種	57	28	0	6	5	11	7	0	6	4	1	68		高専免	1	9	10
2015	中1種	44	19	3	2	3	9	8	2	2	4	/	52	55	中専免	0	0	0
	高1種	54	27	3	2	4	9	9	2	2	5	0	63		高専免	0	0	0
2016	中1種	27	4	1	1	5	6	10	1	1	5	/	34	37	中専免	0	2	2
	高1種	37	5	2	1	5	10	14	1	1	5	0	44		高専免	1	3	4
2017	中1種	28	15	0	1	0	2	10	0	1	0	/	29	38	中専免	1	3	4
	高1種	38	21	1	1	0	4	11	1	1	0	1	41		高専免	2	3	5
2018	中1種	25	10	1	3	0	2	9	1	3	0	/	29	31	中専免	0	3	3
	高1種	31	14	1	3	1	3	9	1	3	1	0	36		高専免	0	3	3

【教員免許（一種）取得件数と取得者数推移】



【教員採用試験合格率と教員就職者数】



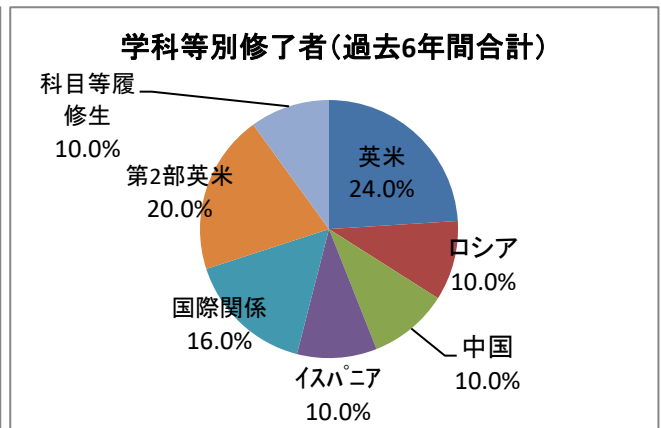
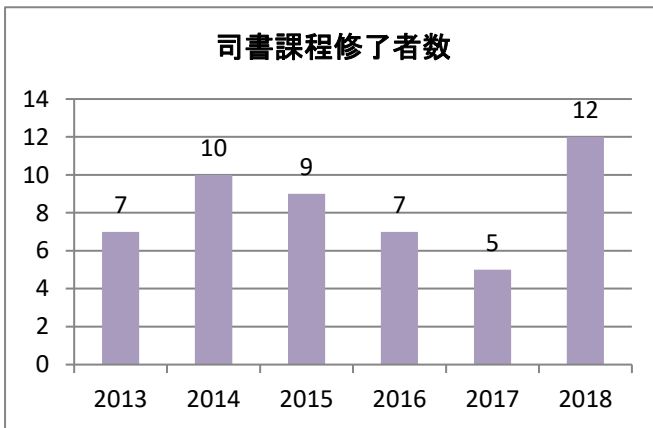
※受験者数、合格者数には私立を含む。

※就職者数には、公立・私立常勤講師、時間講師を含む。

■司書資格

【司書課程修了者数】

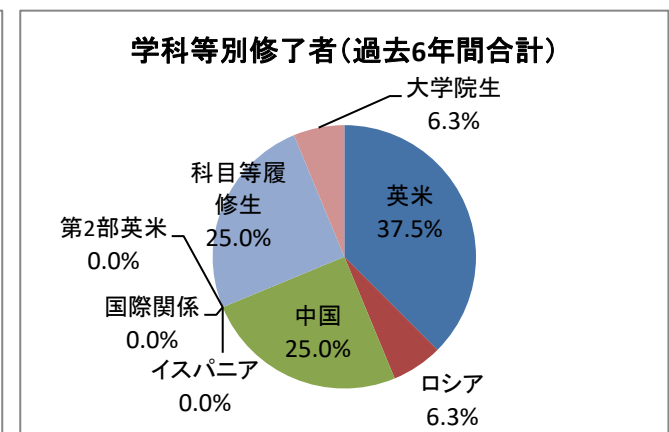
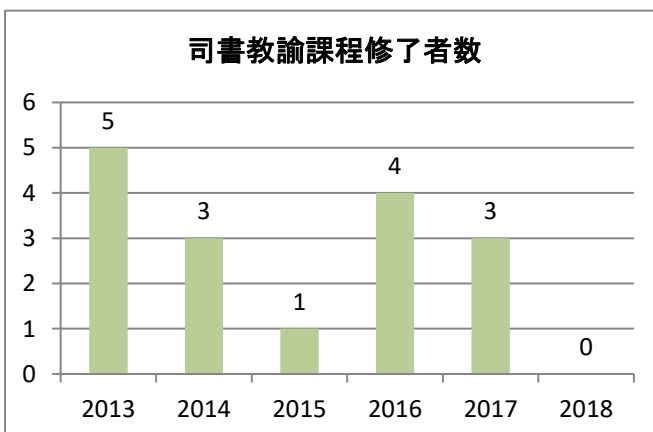
資格	学科	2013	2014	2015	2016	2017	2018
司書	英米	0	1	3	0	3	5
	ロシア	3	0	1	0	0	1
	中国	0	1	0	3	0	1
	イスパニア	1	3	1	0	0	0
	国際関係	0	3	1	2	1	1
	第2部英米	2	1	1	2	1	3
	科目等履修生	1	1	2	0	0	1
	合計	7	10	9	7	5	12



■学校図書館司書教諭資格

【司書教諭課程修了者数】

資格	学科	2013	2014	2015	2016	2017	2018
学校図書館 司書教諭	英米	2	0	1	2	1	0
	ロシア	0	0	0	1	0	0
	中国	2	1	0	1	0	0
	イスパニア	0	0	0	0	0	0
	国際関係	0	0	0	0	0	0
	第2部英米	0	0	0	0	0	0
	科目等履修生	1	1	0	0	2	0
	大学院生	0	1	0	0	0	0
	合計	5	3	1	4	3	0

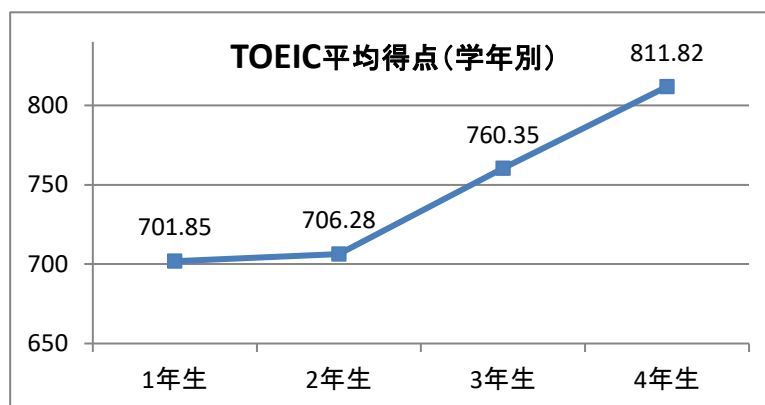
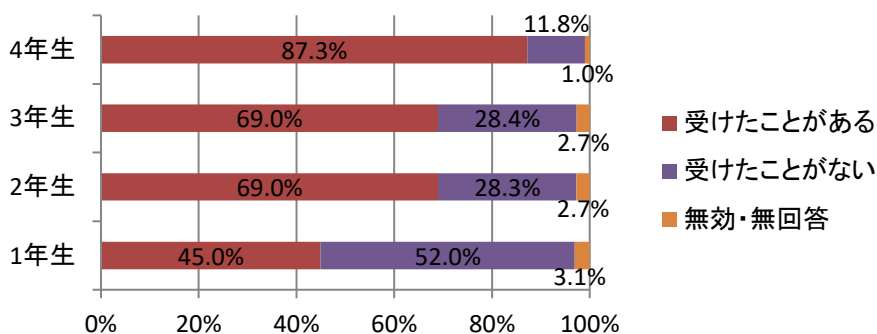


2-7 語学運用能力の成長

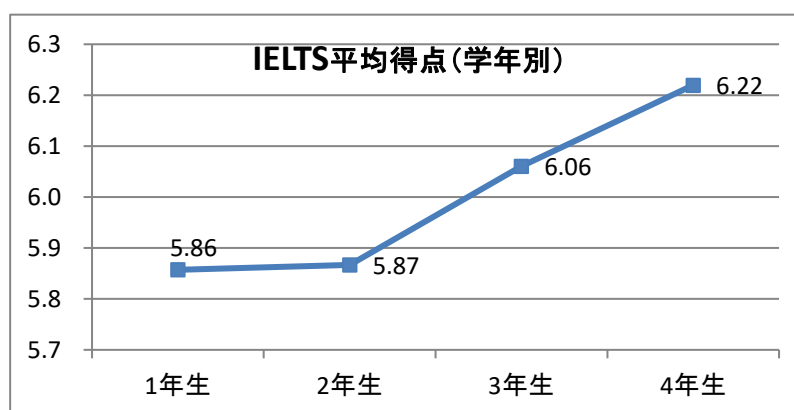
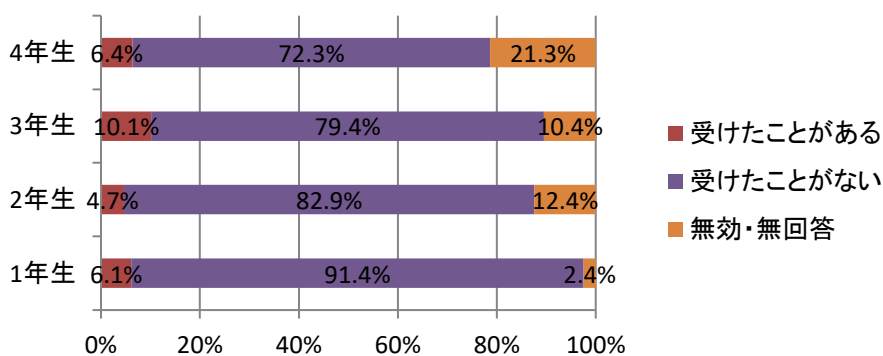
※2016年11月実施「第2回学生生活調査」より（回収率65.6%） n=1,236

■英語運用能力の伸び

TOEIC受験状況(学年別)



IELTS受験状況(学年別)



■ロシア・中国・イスパニア学科の語学運用能力

【ロシア学科 3・4 年生の受験状況】

・ロシア語能力検定

	1級	2級	3級	未回答	合計
3年生		2	1	23	26
4年生		1	1	16	18
合計	0	3	2	39	44

・ロシア語検定試験

	第3レベル	第2レベル	第1レベル	基礎レベル	未回答	合計
3年生		1	0		25	26
4年生		1	3		14	18
合計	0	2	3		39	44

※アンケート回収率 3 年生回収率 57.8% (n=26)

4 年生回収率 45.0% (n=18)

【中国学科 3・4 年生の受験状況】

・HSK

	6級	5級	4級	3級	未回答	合計
3年生	4	5	2		22	33
4年生	24	4			12	40
合計	28	9	2	0	34	73

・中国語検定

	1級	準1級	2級	3級	未回答	合計
3年生			1		32	33
4年生			4	3	33	40
合計	0	0	5	3	65	73

※アンケート回収率 3 年生回収率 64.7% (n=33)

4 年生回収率 80.8% (n=40)

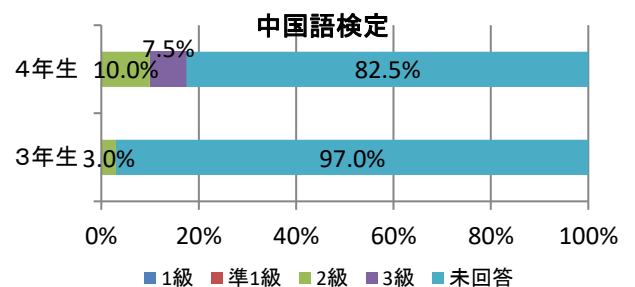
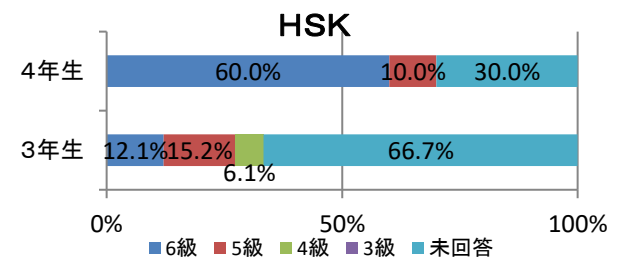
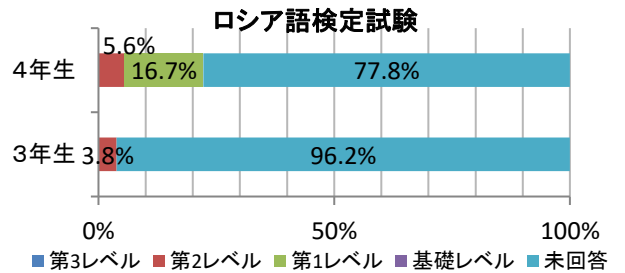
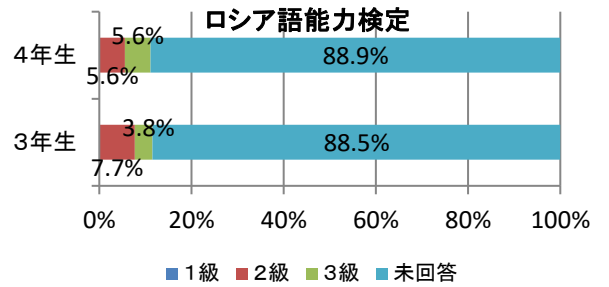
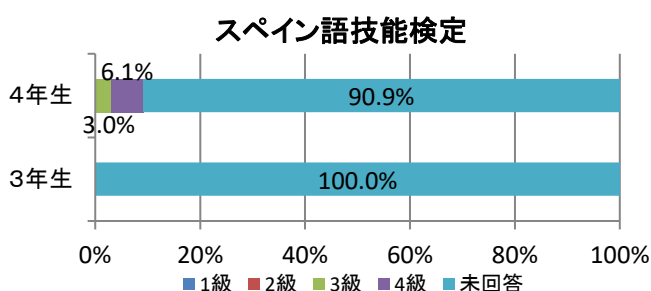
【イスパニア学科 3・4 年生の受験状況】

・スペイン語技能検定

	1級	2級	3級	4級	未回答	合計
3年生					23	23
4年生			1	2	30	33
合計	0	0	1	2	53	56

・DELE

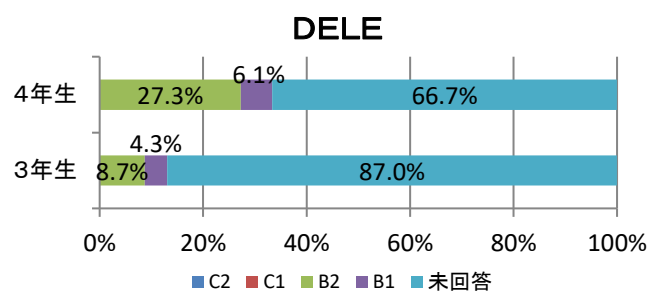
	C2	C1	B2	B1	未回答	合計
3年生			2	1	20	23
4年生			9	2	22	33
合計	0	0	11	3	42	56



※アンケート回収率

3 年生回収率 52.3% (n=23)

4 年生回収率 75.0% (n=33)



2-8 課外活動状況

■学生の優れた課外活動・・・クラブなどの対外試合や学生が個人的に参加した行事等で上位に入賞し、主催者より表彰された課外活動（2018年度）

外国語コンテスト等

高円宮妃殿下英語論文コンテスト 2017

高円宮妃殿下英語論文コンテスト 2017 の授賞式が 4 月に行われ、第 2 部英米学科 4 年の野村ニイナさんが 2 等賞を受賞しました。

ホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会

6 月 10 日（日曜）、ホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会が行われ、第 2 部英米学科 4 年の中山真珠さんが 2 等賞を受賞しました。

第 12 回学生通訳コンテスト

11 月 24 日（土曜）、全国外大連合連携事業として、名古屋外国語大学で第 12 回学生通訳コンテストが行われ、英米学科 3 年の井上稚菜さんが 3 位に入賞しました。

第 7 回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト

12 月 1 日（土曜）第 7 回全国学生英語プレゼンテーションコンテストが行われ、国際関係学科 3 年の友成咲良さん、津田理沙さん、土屋陽さんのグループと野村ニイナさん、小林光梨さんのグループが TOP50 賞に入賞しました。

第 32 回全日本学生中国語弁論大会

11 月 24 日（土曜）、京都外国語大学で、第 32 回全日本学生中国語弁論大会が開催され、中国学科 2 年の加藤明日香さんが京都外国語大学総長賞（第 1 位）を受賞しました。

関西ロシア語コンテスト

11 月 25 日（日曜）、第 27 回関西ロシア語コンクールが開催され、上級部門においてロシア学科 4 年の佐藤美沙さんが第 1 位、垣田修武さんが第 2 位、四谷泉紀さんが第 3 位、喜多美咲さんがロシア総領事館賞、石川雪乃さんが特別賞を受賞。中級部門においてロシア学科 2 年の与那覇漠乃さんが第 1 位、赤松樹さんが第 2 位、奥村紗貴さんが特別賞を受賞、ロシア学科 3 年の高橋佑果さんが特別賞を受賞しました。

香港杯全日本大学学生大使英語プログラム 2018-2019

1 月 19 日（土曜）、東京の KDDI ホールで、香港杯全日本大学学生大使英語プログラム 2018-2019 が開催され、第 2 部英米学科 4 年の野村ニイナさんが 2 位に入賞しました。

デモクラシー・ナウ！学生字幕翻訳コンテスト

大学院英語学専攻修士 2 年の東美優さんが、課題 4「悪化する温暖化シナリオ」の字幕翻訳で最優秀賞を受賞しました。

模擬国連関係

模擬国連世界大会

11月18日（日曜）～24日（土曜）、中国西安で模擬国連世界大会が行われ、国際関係学科3年の栂山美生さん、国際関係学科1年のテリヨン・クリスティーン馨子さんが、安全保障理事会で Outstanding Position Paper（上位10%に与えられる賞）を受賞しました。

スポーツ関係

第1回世界大学武術選手権大会

8月2日（木曜）～8月5日（日曜）、中国・マカオで行われた第1回世界大学武術選手権大会に、中国学科1年の貴田菜ノ花さんが日本代表として長拳の部に出場し、4位に入賞しました。

平成30年度関西学生バスケットボールリーグ戦得点王

8月25日（土曜）～10月8日（月曜）にかけての平成30年度関西学生バスケットボールリーグ戦が行われ、英米学科3年の継山仁さんが5部リーグの得点王になりました。

ラグビー部が関西大学ラグビーCリーグに昇格

ラグビー部が、関西大学ラグビーDリーグにおいて、16チーム中4位の成績をおさめ、Cリーグへの昇格が決定しました。

その他

米務省主催 SUSI プログラム

6月～8月にかけて実施される米務省主催の SUSI プログラムの参加者に、第2部英米学科4年の野村ニイナさんが選ばれました。

アジア・アフリカ研究の視野における日本学国際シンポジウム

11月11日（日曜）、中国上海でアジア・アフリカ研究の視野における日本学国際シンポジウムが行われ、博士課程2年の張岩さんが2等に入賞しました。

The International Volunteer Forum（国際ボランティアフォーラム）

12月2日（土曜）～12月5日（水曜）、ロシア・モスクワで The International Volunteer Forum（国際ボランティアフォーラム）が開催され、ロシア学科3年の尾迫志央理さんが、最優秀外国人10人のうちの1人に選ばれました。

第14期親善大使スマイル神戸

英米学科2年の牛尾未来さんが、神戸市の親善大使である「スマイル神戸」に選ばれ、10月3日（水曜日）から神戸市の観光宣伝事業、親善交流事業等で活躍しています。

■語劇祭・・・本学の誇る学生イベントのひとつで、各学科の5つの劇団が各々の専攻語を用いた劇を上演する伝統行事。演目はコメディ、サスペンス、悲劇と多岐にわたり、開催にあたっては、教員も台本の選定や発音の指導等に協力し、外大の語学教育の一翼を担っている側面がある。

日時（2018年度）

2018年12月15日（土曜） 10時30分～19時30分

2018年12月16日（日曜） 10時30分～16時30分

場所

神戸アートビレッジセンター（神戸市兵庫区新開地5丁目3番14号）

プログラム

中国語劇団 『你好，打劫!』（邦題：強盗だ!）

とある火曜日の午後、閉店間際の銀行が強盗に襲われる。犯人は失業者のサニーとベン。しかし間もなく警察に包囲されてしまい、やむを得ず銀行員を人質に立てこもる。早く帰りたい……銀行員たちから不満が噴出する中、窮地に陥ったサニーが思いついたのはとんでもない作戦だった。

2人は何故強盗になったのか？銀行員たちはいつになったら帰れるのか？

彼らの長い1日が始まる…

英米語劇団 『Black Coffee -Miss Poirot Version-』（邦題：ブラックコーヒー）

高名な科学者クロード卿の邸宅で事件は起きた。貴重な方程式が書斎の金庫から盗まれたのだ。

犯人はこの部屋にいる…。クロード卿は容疑者達を集め、暗闇の中で方程式を返却するよう提案する。

部屋は疑心暗鬼に包まれ、ついに灯りが落ちた。暗闇の中に鳴り響く奇妙な音。部屋に灯りが戻るとそこには…？

アガサ・クリスティの名作ポアロシリーズを飛び出した、英米語劇の新しいミステリーをご覧ください！

第2部英米語劇団 『Every Christmas Story Ever Told (And Then Some!)』

（邦題：ああ、クリスマス!）

ジョー、ジェーン、リンジーは、毎年クリスマスの恒例行事のために舞台に立つ。チャールズ・ディケンズの『クリスマス・キャロル』を上演するのである。しかし、お客さんの入りも上々、まさに舞台が始まる、その瞬間。毎年同じ作品であることに嫌気がさしたと言い出して、今回は全く別のパフォーマンスを試みようという話になる。3人は、古典的クリスマス・ストーリーに負けない舞台を即興で作れるのか？それは見てのお楽しみ…

イスパニア語劇団 『Mancha que limpia』（邦題：拭われた汚辱）

親を亡くし、同じ家に引き取られた2人の女性マチルデとエンリケタ。

彼女たちは、その家の息子フェルナンドをめぐる対峙する。

そしてある日、1つの噂が事態を急変させる！

愛に翻弄される人間関係。人の心に潜む善と悪。

汚(けが)された過去、名誉、魂すべてを清めるものは一体…

ロシア語劇団 『 Дневник Анны Франк 』（邦題：アンネの日記）

世界中で愛され続けている『アンネの日記』の戯曲版。

ときは第二次世界大戦。ドイツによる「ユダヤ人狩り」から逃れるため隠れ家に潜んだ8人のユダヤ人。そのうちの1人アンネ・フランクはキティと名付けた日記帳に隠れ家での生活を綴っていく。厳しい生活のなかでも希望を失わず、家族と同居人との衝突や恋を経験しながら成長していくアンネ。彼女の目に映っていた世界とは。キティが語る永遠の青春の記録。



受賞結果

最優秀劇団賞	ロシア語劇団
最優秀主演役者賞	新田 実（ロシア語劇団・3年）
最優秀助演役者賞	杉谷 七菜子（イスパニア語劇団・1年）
優秀劇団賞	イスパニア語劇団
優秀主演役者賞	次郎萬 涼夏（イスパニア語劇団・2年）
優秀助演役者賞	藤田 渉（イスパニア語劇団・4年）
審査員特別助演役者賞	仲山 風花（ロシア語劇団・3年）
若葉賞	三瀬 惇平（イスパニア語劇団・1年）
	下野 璃音（第2部英米語劇団・1年）
ベストキャラクター賞	高田 恵美（英米語劇団・2年）
	新田 実（ロシア語劇団・3年）
	岡本 純怜（中国語劇団・1年）
	李 慶雨（イスパニア語劇団・1年）
	安藤 愛梨（第2部英米語劇団・2年）
音響賞	イスパニア語劇団
照明賞	ロシア語劇団
字幕賞	ロシア語劇団
舞台美術賞	英米語劇団
衣装メイク賞	中国語劇団

3 研究

3-1 科学研究費助成事業

■採択研究課題一覧（2013年度以前に終了した採択研究課題は掲載していない）

【基盤研究（A）】

研究課題名	採択年度	最終年度
チベット語最古層の形成とその構造推移 ーデータベース解析による辞書と歴史文法の編纂	2012	2017

【基盤研究（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
メコン川中流域を中心とした諸言語の言語実態と変容プロセスの研究	2017	2021
感情労働の地域・階級間比較にみる「近代家族」、フェミニズム思想の越境性とその限界	2018	2021

【基盤研究（C）】

研究課題名	採択年度	最終年度
ラフカディオ・ハーンの<トランスナショナル>アメリカ:報道・翻訳・創作	2012	2014
現代方言に基づくアクセント類別語彙の研究	2012	2014
語基の音節構造と強勢パターンの分布:記述と理論的予測	2012	2014
リフレクティブ・プラクティス実践過程における英語教師の談話の変容に関する実証研究	2012	2014
十八世紀末ウィーンにおけるメディアとしての銅版画	2012	2017
南ラオスの農村開発とその社会・文化的整合性に関する人類学的研究	2012	2015
イノベーションの類型化と製品ライフサイクルに関する理論・実証研究	2012	2014
賦課方式年金がマクロ経済に及ぼす影響	2012	2014
ガイドブックの詩学—19世紀湖水地方における文化的景観の変容と文学観光	2013	2016
ロシア宗教ルネサンスの思想と世界戦争	2013	2017
満洲語の意味と用法からアプローチする清代北京語の語彙・語法研究	2013	2015
現代スペインの諸言語の形態論についての対比的研究	2013	2015
近現代南アジアにおける軽工業製品雑貨:広域流通、政治・文化表象、慈善	2013	2016
アンデス文明形成期の社会モデル再検討:神殿壁面装飾の分析を中心に	2013	2015
通商政策/対外経済政策の個人選好の政治経済学的分析	2013	2015
中国環境訴訟における受理プロセスの実態と環境被害者救済の課題	2014	2017
バスク語諸方言の文法記述(「親世代」と「子世代」のことばの違いをめぐって)	2014	2018
東南アジア大陸部北部地域の諸言語の地域特徴と接触による言語変容の研究	2014	2016
予定調和を崩す構造を備えた外国語アクティビティの開発と研究:即興劇の手法を用いて	2014	2016
Empirically Grounded Training Materials for International Negotiation	2014	2017
19世紀英領植民地世界における「家族の標準化」とその限界	2014	2017
政策評価分析の手法による資本規制と為替制度に関する実証研究	2014	2017
Japanese Shakespeare in the New Millennium	2015	2017
主節現象の統合的説明に向けた研究:話題化構文を中心に	2015	2017
ロシア語の動詞語形成の包括的記述—複合概念の形成と言語の世界像	2015	2018
強勢・アクセントの型のバリエーションの日英語比較:可能な型の範囲と普遍性	2015	2018
産業ごとの産出の人的資本弾力性の差異と貿易構造に関する動学的研究	2015	2018
ジェイムズとハーンの<海を越える語り>:アメリカ帝国主義とトランスナショナルリティ	2016	2018
アメリカ文学における核と原爆の言説—人種とエスニシティと環境のポリティクス	2016	2019
現代スペインの諸言語の音声・音韻的現象に関する対比的研究	2016	2018
印欧祖語とラテン語の中間段階がもつ言語特徴について	2016	2019
清代の満漢対訳会話書類に関する総合的研究	2016	2018
チベット・ビルマ語派ルイ語群の未記述方言調査によるルイ祖語の研究	2016	2019
他動性に対する「視点」の作用に関する日中対照研究:認知意味論に基づいた誤用分析	2016	2018

自由貿易協定の政治経済学的分析	2016	2018
東アジア哲学の共通基盤としての数理と論理	2017	2020
大衆旅行時代におけるロマン主義精神の継承—湖水地方の観光と文化的景観の変容	2017	2020
20世紀中国の文学形式と抒情の定型—ジャンル・言語・地域の越境面から見る	2017	2019
近現代南アジアにおける中下層の消費と社会・文化表象:軽工業製品雑貨の市場の多様性	2017	2019
成熟経済でのバラッサ・サミュエルソン効果の有効性-労働市場の構造変化との関連から	2017	2019
江戸時代の俳諧文化における画家・絵画評価とその画壇への影響の研究	2018	2021
Exploring Typewritten Literary Manuscripts via Kerouac's "On the Road"	2018	2020
ロシアの亡命思想家と戦間期の西欧思想	2018	2022
節の切り詰め効果に関する研究:局所性制約に基づく説明の発展・深化に向けて	2018	2020
Building a corpus of ELF (English Lingua Franca) user negotiated interactions	2018	2021
開発と地域住民によるローカリティとアイデンティティの再編に関する人類学的研究	2018	2020
裁判官人事システムの経済学的分析	2018	2021
新出文献に基づく中世チベット仏教伝播後期における空白期間の総合的解析	2019	2021
ヘンリー・ジェイムズをめぐる翻訳と解釈—東洋と西洋をつなぐ<新・国際挿話>の創出	2019	2022
言語変化パターン解明に向けた彝文字地図作成及び彝語コーパスの構築と活用	2019	2021
日本語と中国語の結果複合動詞の分析:「視点」と「主観性/主体性」の観点から	2019	2021
現代バスク語諸方言の音韻と文法の記述 ~地域差と世代間差の二つの側面から~	2019	2021
A Genre Analysis Approach to Effective Writing in Multilateral Diplomacy	2019	2022
アンチダンピング関税発動の経済分析:その要因と効果	2019	2021
小学生の言語的課題の解決に向けた日本語学・心理学の連携的研究	2019	2022
中国における情報手段の発達と環境政策への市民参加に関する研究	2019	2022
Linking Vision and Language through Computational Modelling	2019	2023

【挑戦的萌芽研究】

研究課題名	採択年度	最終年度
第3言語学習者の言語コントロールと認知コントロールに関する横断的・縦断的研究	2016	2018

【挑戦的研究（萌芽）】

研究課題名	採択年度	最終年度
日米の相互関係による核イメージの構築・変容・社会的影響に関する研究	2018	2020

【若手研究（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
バイリンガルの言語産出における言語選択のタイミングについての研究	2012	2014
アメリカ核文学研究と北米先住民作家	2013	2015
チベット・ビルマ語派ルイ語群と周辺言語との言語接触にかんする研究	2013	2015
権限と人事の契約理論的分析	2013	2016
会計情報に対する意見不一致が及ぼす影響に関するモデル分析	2013	2016
中国近代文学における白話文体形成とジャンル間影響: 欧化・方言・文言吸収の諸相から	2013	2016
日本イスラム教団の布教活動とその日本イスラーム受容史における位置づけ	2014	2016
中央アジア出土史料による古代チベット帝国の文書行政システムの研究	2014	2016
11-13世紀におけるチベット仏教カダム派の研究—寺院を中心として	2015	2017
ドホイ語の言語文化記述の基盤作成	2015	2018
一時帰郷としてのルーツ観光体験が移民子孫の心理に及ぼす影響	2016	2018
出土資料研究によるチベット古代宗教の諸相解明	2017	2019
琉球王国最末期の漢文学者・蔡大鼎の日本・中国・琉球に関する知の形成と集積	2017	2020

【若手研究】

研究課題名	採択年度	最終年度
タイ上座仏教海外派遣僧プログラムの布教方針とその英国における実践形態の分析	2018	2020
サイト・トランスレーションに関する理論的・実証的研究	2018	2021
契丹大字と契丹小字の比較に基づく契丹大字表記システムの解明	2018	2020
英米探偵小説における隠れた言葉遊びの使用法	2019	2022
黄金期探偵小説における男性性表象	2019	2022
ペラルーシ共和国のロマ(ジプシー)の方言の記述言語学的研究	2019	2021
日本人スペイン語学習者の書記コミュニケーションに関する中間言語語用論的研究	2019	2021

【研究活動スタート支援】

研究課題名	採択年度	最終年度
輻射輸送理論による偏光研究と星・惑星形成領域への応用	2014	2015
現代中国の文芸一家——王嘯平、茹志鵬、王安憶の文学テキストの総合的検討	2018	2019
ヴォイヴォディナ・ルシン語の動詞語彙の意味と語源に関する共時的・通時的的研究	2018	2019

【特別研究員奨励費】

研究課題名	採択年度	最終年度
現代漢語「複用」文と「後置」文の機能的分析—文末要素の語気助詞化傾向分析を中心に	2015	2016
台湾オーストロネシア諸語におけるアタヤル語群と西部平原諸語の系統研究	2017	2018

■科学研究費獲得状況

(1) 申請件数、採択件数、採択率

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018
申請件数	24件	23件	20件	21件	20件	27件
基盤研究(A)	0件	0件	0件	0件	0件	1件
基盤研究(B)	2件	3件	2件	3件	5件	6件
基盤研究(C)	13件	11件	9件	7件	7件	11件
その他	9件	9件	9件	11件	8件	9件
採択件数	13件	10件	9件	12件	8件	13件
基盤研究(A)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究(B)	0件	0件	0件	0件	1件	1件
基盤研究(C)	7件	7件	5件	7件	4件	7件
その他	6件	3件	4件	5件	3件	5件
採択率	54.2%	43.5%	45.0%	57.1%	40.0%	48.1%

※その他には、研究スタート支援、研究奨励を含む。

(2) 継続研究件数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018
継続件数	19件	22件	25件	26件	27件	22件
基盤研究(A)	1件	1件	1件	1件	1件	0件
基盤研究(B)	1件	0件	0件	0件	0件	1件
基盤研究(C)	9件	15件	16件	17件	21件	15件
その他	8件	6件	8件	8件	5件	6件

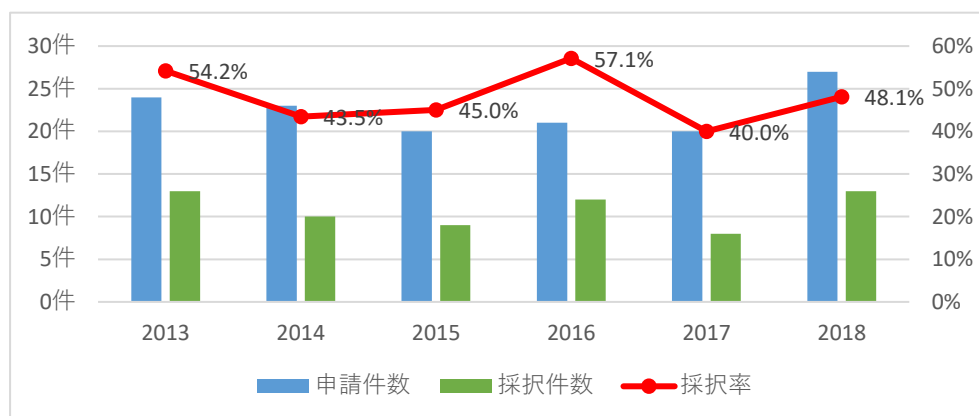
(3) 研究課題数合計

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018
合計件数	32件	32件	34件	38件	35件	35件
基盤研究(A)	1件	1件	1件	1件	1件	0件
基盤研究(B)	1件	0件	0件	0件	1件	2件
基盤研究(C)	16件	22件	21件	24件	25件	22件
その他	14件	9件	12件	13件	8件	11件

(4) 執行額

(単位：千円)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018
執行額合計	52,313	56,479	50,646	43,627	56,031	55,999
直接経費	40,610	43,445	39,305	34,144	43,131	44,047
間接経費	11,703	13,034	11,341	9,483	12,900	11,952



3-2 学術論文

※執筆者の肩書は執筆当時のものを記載。また、号によっては一部肩書きを省略しているものがある。

■外国学研究 (2013~2018 年度)

発行年月	号数	タイトル		執筆者
2015年 3月	86	英語教育と日本語	英語教育における日本語の役割	教授 村田 純一
			パラフレーズによる英語リーディング指導	関西学院大学 教授 長谷 尚弥
			心理言語学的手法によるバイリンガリズム研究からの知見：教室での使用言語について	准教授 星野 徳子
			小学校国語教育と英語教育 その導入期の教材と指導について	教授 横田 玲子
2015年 3月	87	英語学基礎科目における教授方法の研究	可算と不可算の不可思議 学校英文法から英語学の発想へ	教授 山口 治彦
			「空耳アワー」にみる音の類似と弁別素性	教授 三間 英樹
			文の階層性と文法現象	准教授 那須 紀夫
			Be Going To はどのような仕組みで未来を表すのかについて、たどたどしく考える	教授 本多 啓
2015年 3月	88	越境する女性詩人たち—モダニズム再考	Even Ifに見る Even の力	
			モダニズム、そして、それから：マリアン・ムアーとエリザベス・ビショップ	神戸女学院大学 名誉教授 別府 恵子
			「マティス」と「ピカソ」—ガートルード・スタインの文学的肖像と反復	神戸女学院大学 教授 三杉 圭子
			モダニズムのコラボレーション—H.D.の映像製作と詩	神戸市外国語大学 非常勤講師 三宅 あつ子
			"A Litterbug"詩学—ミナ・ロイのモダニズム	教授 難波江 仁美
			受難における連帯：Edith Sitwell, "Still Falls the Rain"における聖書の引喩	教授 西川 健誠
			ローウェルとキーツ	近大姫路大学 非常勤講師 谷川 由記
			狂気と正気のはざま—バロネス・エルザの軌跡 荒地から耕地へ—Vita Sackville-West の The Land(1926)	教授 辻本 庸子 准教授 吉川 朗子
2015年 12月	89	ENSEÑAR ESPAÑOL EN JAPÓN Guía sobre algunos aspectos de la enseñanza a japoneses	教授 Montserrat Sanz Yagüe 南山大学 教授 Arturo Escandón Godoy 講師 Juan Romero Díaz 神戸市外国語大学 非常勤講師 Danya Ramírez Gómez 神戸市外国語大学 非常勤講師 Roger Civit i Contra	

2015年 12月	90	Storytelling: Repositioning Literary Texts in Language Teaching	Repositioning Literary Texts in Language Teaching: The State of the Art	教授 Donna Hurst Tatsuki
			The "Ripple Effect" of Literary Texts: Researching, Translating, Applying	Sapienza University of Rome Marina Morbiducci
			Communicative Methods for Using Literature in the EFL Classroom	Iwate University Bern Mulvey
			With Challenge and Support: Integrating Skills, Language and Content in a Literature Unit in EFL for Japanese Learners	准教授 Lori Zenuk-Nishide
			Three Men in a Boat: Jack, Guy and King Cole Teaching Language and Culture through Nursery Rhymes and Famous Proper Names	Tuscia University Alba Graziانو
			Oral Stories and Storytelling for Language Teaching	Nanyang Technological University Soe Marlar Lwin
			Telling Stories to Children : The Waldorf/Steiner Education Approach	University of Hyogo Brian D. Bresnihan
			Tell me a Story: Oral Interpretation in the English Classroom	Nanzan University David Kluge
			Act it Out: From Drama to Literature	Kobe Shoin Women's University Frances Shiobara
2015年 12月	91	ポスト・グローバル化社会における スポーツ文化研究	Storytelling and Literary Texts in ELT: Future Directions	教授 Donna Hurst Tatsuki
			序文	教授 竹谷 和之
			グローバル化統治に抗するバスク伝統スポーツ	教授 竹谷 和之
			モンゴルにおけるスポーツ文化のグローバル化 — 〈世界〉へ参入する手法としての「スポーツ」—	奈良教育大学 准教授 井上 邦子
			「じか」「からだ」そして「にんげん」について —竹内敏晴の思想と実践にふれて—	椋山女学園大学 教授 三井 悦子
			体操競技の現状と問題性	大阪学院大学 教授 松本 芳明
			「体操」から「体づくり運動」へ	びわこ成蹊スポーツ 大学 教授 菅井 京子
			Sport for Tomorrow とスポーツボランティア —コスタリカ、ペルー、エルサルバドルの調査から—	東海大学 教授 松浪 稔
			河童のリアリティを求めて —「河童の相撲好き」その底流にあるのはなにか—	21世紀スポーツ文化 研究所 特別研究員

				竹村 匡弥
			『記・紀』にみる伝統スポーツー古代日本の相撲とポスト・グローバル化ー	21世紀スポーツ文化研究所 特別研究員 船井 廣則
			武術における「放擲」を考える	札幌大学 教授 瀧元 誠樹
			古代からポスト・グローバル時代までのバスケット地方と世界におけるスポーツ文化私論	バスク州立チョリエリ中学・高校教諭 バプロ・アントニオ・マルティン・ボッシュ (アリチ)
2016年 12月	92	アジア言語論叢 10 (アジア諸言語の通時的、共時的的研究)	Bit Personal Pronouns in a Northern Mon-Khmer Context	京都大学 Center for Southeast Asian Studies Nathan Badenoch
			傾斜を軸とするセデック語パラン方言の民俗方位	京都大学大学院博士課程 落合いずみ
			チャック語の民話「バカのはなし」	客員研究員 藤原 敬介
			A Phonological Sketch of Akha Buli --- A Lolo-Burmese language of Muang Sing, Laos ---	准教授 林 範彦
			In Defense of Prepalatal Non-fricative Sounds and Symbols :towards the Tibetan Dialectology	オスロ大学／国立民族学博物館 鈴木 博之
			雲南中国語方言の声調体系の地理分布と系譜関係	青山学院大学 教授 遠藤 光暁
			青海大通方言の声調ー基于土族話者の语料分析	松山大学 准教授 川澄 哲也
			韻書と等韻図Ⅱ (完)	教授 太田 斎

■研究年報（2013～2018年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2013年 7月	50	身体—ある乱丁の歴史	教授 今福 龍太
		スポーツのグローバリゼーションにみる<功>と<罪> -伝統スポーツの存在理由を問う-	研究員 稲垣 正浩
		身体に向かうグローバリゼーション -モンゴル国伝統スポーツの事例より-	教授 井上 邦子
		自意識が変容する身体の実験について	教授 三井 悦子
		ヨーガのグローバル化 -グローバル化によるヨーガの多様化とその変容-	教授 松本 芳明
		バスク伝統スポーツとグローバリゼーション	教授 竹谷 和之
		河童の相撲好きと修祓の思想	研究員 竹村 匡弥
		日本における近代的身体概念の形成	教授 松浪 稔
		古武術の伝承について	教授 瀧元 誠樹
		鬼ごっこを考える -遊びに現れる鬼(カミ)について-	教授 船井 廣則
		グローバル化と身体の実行	教授 西谷 修
		2014年 3月	51
The Future of Young Tibetologists	Charles Ramble		
The Ritual Evolution of the Nechung Protector Deities	Christopher Bell		
Competition for the Mountain Landscape: the Ritual Territories of feng shui and the yul lha Cult in the East Frontier Region of Amdo	Yusuke Bessho		
A Chinese Imperial Decree and the Yangton Lama of Dolpo	Nyima Woser Choekhortshang		
Emperor, Dharmaraja, Bodhisattva? Inscriptions from the Reign of Khri Srong lde brtsan	Lewis Doney		
The Inclusive-Exclusive Distinction in Spoken and Written Tibetan	Shiho Ebihara		
Remembering History in Amdo: Three Literary Accounts for the Years from 1956 to 1976	Franz Xaver Erhard		
Unsolved 'bon' Puzzle: The Classical Definitions of Bon	Kalsang Norbu Gurung		
Selection at the Gate: Access to the Monkhooood and Social Mobility in Traditional Tibet	Berthe Jansen		
Sum-pa Ye-shes-dpal-'byor and the Civil War of Eighteenth Century Tibet: A Preliminary Essay on Ye-shes-dpal-'byor's Many Roles in Tibetan Civilization	Hanung Kim		
An Analytical Study of the Tibetan Record of the Simla Conference (1913-1914): Shing stag rgya gar 'phags pa'i yul du dbyin bod rgya gsum chings mol mdzad lugs kun gsal me long	Ryosuke Kobayashi		
The Political Relationship between Tibet and the Qing Dynasty in the Latter Half of the Eighteenth Century and the Nineteenth Century: An Analysis of How bka'-blon was Chosen	Yuri Komatsubara		
Between Indigenous Religion and Religious Minorities: Bonpos' Attempts to Continue Tradition in Contemporary China	Kengo Konishi		
མཚོ་ལྗང་གི་རྒྱུ་རྐྱེན་དཔྱད་པའི་བླ་མ་བསྟན་འཛིན་གྱི་འཚོ་བའི་འགྲུར་ཤོག	Lhundrup Dorje		
Reciters and Chanters: Monastic Musicians in Buddhist Law Texts	Cuilan Liu		
Rethinking the Recently 'Discovered' Bon/Zhangzhung Traditions: the Case of	Yu-Shan Liu		

		Yungdrung Shon Dance (g.yung drung shon rtsed)	
		The Three objects of Buddhist Epistemology	Thupten Gawa Matsushita
		Compositional Styles in Classical Tibetan Literature: The Poetic Verse of 'Jam dbyangs bzhad pa ngag dbang brtson 'grus	Hiroshi Nemoto
		Bird Divination in Old Tibetan Texts	西田 愛
		gSang phu ne'u thog-- Its Contribution to the Re-establishment and Development of Tibetan Buddhism in the Later Diffusion (phyi dar) Period --	Fumihito Nishizawa
		Tibetan Rgyal chen bzhi Iconography: Comparing the Representation of Asian Buddhist Deities	Emi Oba
		Land-centered Perspective: A New Way of Looking at Tibetan Traditional Society	Kensaku Okawa
		Narrating the Land: Preliminary Thoughts on Polysemic Space in Amdo Oral Tradition	Valentina Punzi
		བོན་དང་མངའ་བའི་རྒྱལ་ཚོས་ལུགས་ཀྱི་མཚོན་གཞུང་ལས་སློབ་འཇམ་གྱི་འགྲེང་གི་སྐོར་ལ་དབྱེད་བཟུང་རྒྱལ་ཚོས་ལུགས་པ	Reb gong ba Sha bo rta mgrin
		An Avuncular Profile: An Examination of the Maternal Uncle (Azhang) and his Significance in Tibetan Culture	Jonathan Samuels
		When Buddhist Teachings Meet - Preliminary Remarks on the Relationship between the Four Dharmas of Sgam po pa and Kun dga' snying po's Parting from the Four Attachments	Rolf Scheuermann
		ལྷ་མཁའ་ལྟར་ནང་སྐུ་འདེབས་ཀྱི་དག་སྟོན་པའི་རྗེ་དབང་ཀྱི་ཁྱད་ཚོས་འགའ་ཤམ་དོ་སྟོན	Camille Simon
		Pha-dam-pa Sangs-rgyas in Tangut Xia: Notes on Khara-khoto Chinese Manuscript TK329	Penghao Sun
		On the Unknown History of a Himalayan Buddhist Enclave: Spiti Valley before the 10th Century	Tashi Tsering
		Performing Text as Practice: Rdza Dpal sprul's Practice Manual on the Bodhi(sattva)caryavatara	Markus Viehbeck
		Nyang-ral Nyi-ma 'od-zer's Theory of the Three Vehicles	Akinori Yasuda
2015 年 3 月	52	Nuestro cuerpo como una historia mal encuadrada	IMAFUKU Ryuta
		Mérito y Demérito en la Globalización del Deporte :Sobre las Justificaciones para la Existencia de los Deportes Tradicionales	INAGAKI Masahiro
		La Cultura Deportiva Tradicional del País Vasco y la Globalización	TAKETANI Kazuyuki
		Una aproximación al Onigokko(juego del corre que te pilló): Acerca de los Oni(ogros) que aparecen en los juegos	FUNAI Hironori
		Globalización del yoga : Cambio y diversificación a causa de la globalización	MATSUMOTO Yoshiaki
		Transformación de la autoconciencia mediante la experiencia física	MII Etsuko
		La Globalización y el Cuerpo Humano : el Caso de los Deportes Tradicionales de Mongolia	INOUE Kuniko
		La Afición de los Kappa por el Sumo y el Shubatsu	TAKEMURA Masaya
		Formación del Concepto de Cuerpo Moderno en Japón : Ejército · Educación · Medios de Comunicación	MATSUNAMI Minoru
		Sobre la tradición de las artes marciales de estilo tradicional (Kobujyutsu)	TAKIMOTO Seiki
		La Globalización y el porvenir del cuerpo	NISHITANI Osamu

		Del Juego Tradicional al Deporte : La Imparable Mundialización del Juego Deportivo	Pierre Parlebas
		Los Juegos Tradicionales del Japón a los ojos de un imprudente seguidor de San Francisco Javier	Joseba Etxebeste Otegi
		Actividades físicas, globalización e identidad individual	Asier Oiarbide Goikoetxea
		Pelota vasca y Globalización	Oidui Usabiaga rruabarrena
		Interculturalidad global: vascos en el mundo El tiempo de las danzas vascas como elemento de socialización americana: el caso del Zazpiak Bat de Reno, Nevada	Clara Urdangarin Liebaert
		Expresión emocional en el baile folklórico vasco	Carmen Ereño Álvarez
		Significación de la Educación Física de Primaria (6-12 años) en el País Vasco	Alfredo López de Sosoaga López de Robles
		Ningún niño sin saber nadar	Amaia Larrañaga Otaño
2016 年 3 月	53	What is reflective practice?	Jo TRELFA
		Use of epistemological lenses on the ambiguity of reflective practice: What is it to reflect on experience?	Ken TAMAI
		Reflection, emotion and knowledge of the self	Mark MONAHAN
		Whatever happened to 'reflective practice' ?	Jo TRELFA
		A reflective continuum: Development of reflection	Atsuko WATANABE
		Exploring, reflecting, and taking action through forms of 'practitioner research' and why professional development through research is essential for teachers and teaching	Ian NAKAMURA
		How the intersubjectivity of teacher and learner reflections contributes to transformative learning experiences	Joan M. KURODA
2016 年 12 月	54	Teaching Narratives	編者 立木 ドナ
		How to Teach Narratives : A Survey of Approaches	教授 立木 ドナ
		Oral Interpretation : Telling Stories with Our Whole Body	Nanzan University (Professor) David KLUGE
		Visual Plus Verbal : Improvisational, Collaborative Storytelling for Creativity	准教授 三野宮 春子
		The Neuroscience of Stories and Why our Brains Love Them	Osaka Gakuin University (Professor) Curtis KELLY
		Narratives about Teaching : Remembrance, Reflection and Controversy	教授 立木 ドナ
		Self-narratives in Pre-/Post-visualization : Raising Language Learners' Emotivation and Awareness	University of Naples "L'Orientale", Italy (Associate Professor) Liliana LANDOLFI
		Reflections on a Model United Nations Simulation	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE

		What's a Language Teacher to Do?	University of Hyogo (Professor) Brian Daniel BRESNIHAN
2016年 12月	55	現代スラヴ・アспект研究の動向	編者 金子 百合子
		まえがき 活動報告	准教授 金子 百合子
		類型論におけるアспект論	ロシア科学アカデミー言語学研究所 研究室長 ヴィクトル・S・フラコフスキー
		通言語的視点からのアспект	ロシア科学アカデミーヴィノグラードフ記念ロシア語研究所研究部門副 所長 ヴラジーミル・A・プルンギャン
		動詞の語彙的アспект	サンクトペテルブルク国立大学教授 エレナ・V・ゴルボヴァ
		ロシア語のアспектの語彙的および構成的要素	ロモノソフ記念国立モスクワ大学 教授 セルゲイ・G・タテヴォソフ
		マースロフのアспект理論における主要概念	ロシア科学アカデミー全ロシア科学技術情報研究所主 席研究員 エレナ・V・パードウチェヴァ
動詞の体のスラヴ諸語間対照研究 ースラヴ語を背景にしたロシア語の体ー	ロモノソフ記念モスクワ国立大学 教授 エレナ・V・ペトルーヒナ		
2017年 12月	56	グローバル化周縁における伝統スポーツ文化研究 ー神戸市外国語大学・バスク大学第3回国際セミナーー	編者 竹谷 和之
		El sentido del deporte tradicional vasco en la era de la globalización	教授 竹谷 和之
		グローバル化とスポーツ	立教大学大学院教 授 神戸外国語大 学客員教授 西谷 修
		大相撲のパースペクティヴースポーツのグローバル化と伝統ー	21世紀スポーツ 文化研究所主幹研 究員 船井 廣則
		Juegos deportivos y emigración vasca: crítica de una educación física global	バスク大学 Joseba Etxebeste Otegi
Práctica y transformación de las travesías de montaña en Oriente y	バスク大学		

		Occidente	Axier Oiarbide Goikoetxea
		Las actividades físicas orientales en la oferta deportiva de Gipuzkoa	バスク大学 Estibaliz Romaratezabala Aldasoro
		Juego, cultura y educación. Hacia una educación física contextualizada	リエイダ大学 Pere Lavega Burgués
		Apuntes para una filosofía del deporte radical y global	リンフィールド大 学 Jesús Ilundáin-Agurre za
		Epílogo	TAKETANI Kazuyuki / Joseba Etxebeste Otegi
2017年 12月	57	NMUN 2016: Stakeholder Perspectives on Learning Processes and Outcomes	編者 Lori ZENUK-NISHID E
		Introduction to NMUN 2016: Stakeholder Perspectives on Learning Processes and Outcomes	准教授 ZENUK-NISHID E / 教授 立木 ド ナ
		Overview: Hosting the National Model United Nations Japan 2016	准教授 Lori ZENUK-NISHID E
		Large Delegation Preparation through Co-Teaching and Co-Learning	准教授 Lori ZENUK-NISHID E / 京都外国語大 学教授 Craig SMITH
		Pedagogical Meaning of the Cultural Visits for the Host University Volunteers: Through the Eyes of Leaders	教授 玉井 健
		Stakeholder Perspectives on NMUN Ceremonies	教授 立木 ドナ
		The UN Forum and Faculty Lecture at NMUN: Bringing Expertise to MUN Simulations	教授 立木 ドナ / 准教授 Lori ZENUK-NISHID E
		National Model United Nations and the First Student Press Corps: With a Thought on Journalism Education at Japanese Universities	准教授 繁沢 敦子
		NMUN Japan 2016: Sustaining Multilateralism, Cross-cultural Learning and Domestic Cooperative Internationalism	マキュアン大学准 教授 Chaldeans MENSAH
		A Wonderful Experience in Japan for the German Joint Delegations from Erfurt and North Rhine-Westphalia	エアフルト大学 Sarah DURYEA / Thomas WEILER
		Improving the Interactions of English as a Lingua Franca (ELF) Users and Native Speakers of English	教授 立木 ドナ
Diversity as a Catalyst for Competency Development through Model United Nations Classes	ウェストファーレ ン大学		

			Andreas MÜGLICH / Anna SEIDEL
		Model UN Class at University of Trier and Erfurt, Germany	トリーア大学 Ronny HEINZE
2018年 12月	58	MUN Perspectives on Teaching and Learning: A Focus on Negotiation	編者 教授 立木 ドナ /准教授 ZENUK-NISHID E
		Interest-Based Negotiation and MUN: Equipping Youth with Appropriate Tools for a Better World	マーシー大学 Michiko KURODA
		Research is Key to Model United Nations Writing, Negotiating and Public Speaking	准教授 Lori ZENUK-NISHID E
		ELF in MUN Negotiations: Problematizing the Native Speaker of English	教授 立木 ドナ
		Using Getting to Yes to Teach English, Negotiation, and Other 21st Century Skills	カリフォルニア大 学パークレー校 Barrie J. ROBERTS
		Speech, Drama, Debate, Negotiation, and the Model United Nations	南山大学 David KLUGE
		Debating at School in Italy	National Institute for Documentation, Innovation, Educational Research Letizia CINGANOTTO
		Improving Student Involvement in Discussions	甲南大学 Takara K. ALLAL-SUMOT O
		The Evolving Argument: Negotiating Improved Academic Writing Skills and Class Cohesion	名古屋大学 Robert Joel DEACON
		Negotiating the Challenges of Studying Abroad	神戸学院大学 Anthony C. TORBERT / Noriko NAKANISHI

■研究叢書（2013～2018 年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2014年3月	第53号	El español y el japonés	教授 福嶋 教隆
2014年3月	第54号	The Spirit of No Place Reportage, Translation and Re-told Stories in Lafcadio Hearn	教授 難波江仁美
2015年3月	第55号	信仰と法規制 アメリカ法の議論から	准教授 山口智
2015年3月	第56号	授業談話を変えるアクティビティ開発： 教師が手作りする授業	講師 三野宮春子
2016年3月	第57号	チベット語文法研究	教授 武内 紹人
2016年3月	第58号	国際商取引における Soft Law	教授 中村 嘉孝
2016年12月	第59号	周法高『中國語文研究』訳注	教授 太田 斎
2017年12月	第60号	『一百條』・『清文指要』対照本（Ⅰ）本文篇	教授 竹越 孝
2018年12月	第61号	『一百條』・『清文指要』対照本（Ⅱ）補遺・索引篇	教授 竹越 孝

※執筆者の肩書きは執筆当時のもの。

3-3 研究支援事業

専任教員の研究活動を促進することを目的として、学内研究支援事業を行っている。

■Research Project A (共同研究・研究交流を支援する)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2014年度	准教授 L.Nishide	Japan International Negotiation Project	4年
2015年度			
2016年度			
2017年度	教授 立木 ドナ	Building the MUNSELF Corpus	4年
2018年度			
2019年度			
2020年度			

■Research Project B (研究会・討論会の開催を支援する)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2014年度	教授 太田 斎	アジア諸言語の通時的・共時的研究	4年
2015年度			
2016年度	准教授 津守 陽	20世紀東アジア：越境する文学形式と思考の流動	3年
2017年度			
2018年度			

■Research Project C (科学研究費に申請し採択に至らなかった研究を支援する)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2014年度	教授 指 昭博	イギリス宗教改革と「プロテスタント国家」の再検討	1年
2015年度	准教授 星野 徳子	第3言語学習者の言語コントロールに関する横断的・縦断的研究	1年
2016年度	准教授 星野 徳子	バイリンガルの語彙・文産出メカニズムに関する認知神経科学的手法による比較研究	1年
2017年度	応募なし		
2018年度	准教授 L.Nishide	A Genre Analysis Approach to Negotiated Resolution Writing for Model United Nations	1年

■国際会議・セミナー等開催支援

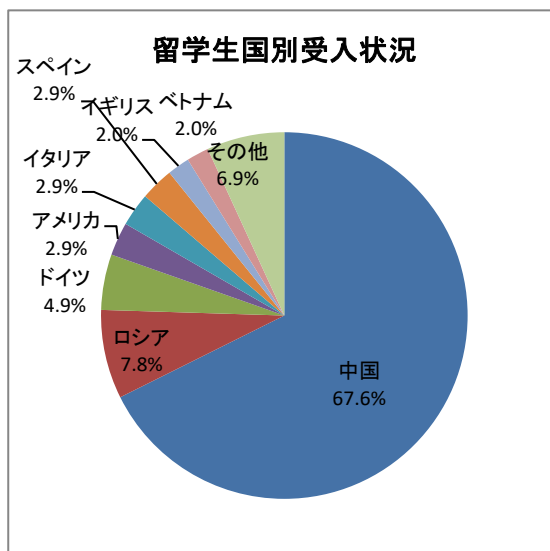
採択年度	申請者	会議等名称	会議実施日
2014年度	教授 玉井 健	KCUFS Reflective Practice Conference 2014	2014/8/28-30
2015年度	准教授 金子 百合子	現代スラヴ・アспект研究の動向	2015/11/16
	教授 立木 ドナ	JALT PAN-SIG Conference	2015/5/16-17
2016年度	教授 吉川 朗子	ワーズワスと芭蕉：歩く詩人—21世紀における自然の価値	2016/10/29-30
2017年度	准教授 L.Nishide	Global Negotiation Symposium	2017/6/23-25
2018年度	応募なし		

4 国際交流

4-1 留学状況

■留学生の受け入れ（2018年5月1日現在）

国・地域	学部生	交流留学生 （日本語プログラム）	大学院生 （修士課程）	大学院生 （博士課程）	研究生	外国人 研究生	合計
中国	2	3	21	14		29	69
ロシア		4	1			3	8
ドイツ		5					5
アメリカ		3					3
イタリア		3					3
スペイン		2	1				3
イギリス		2					2
ベトナム			2				2
ウズベキスタン						1	1
オーストラリア			1				1
スウェーデン	1						1
タイ			1				1
ノルウェー			1				1
ベルギー		1					1
マレーシア	1						1
合計	4	23	28	14	0	33	102



■学生の海外留学等状況

【交換留学（2013～2018年度）】

国名	留学先	2013	2014	2015	2016	2017	2018
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	2	1	-	-	-	-
	オーガスタナ大学	3	2	3	2	2	1
イギリス	ニューカッスル大学	-	-	2	2	2	2
	ヨークセントジョン大学	-	-	-	3	2	2
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	-	1	1	0	0	2
カナダ	メディシンハット大学	1	1	1	0	1	1
	レジャイナ大学	2	2	2	2	2	2
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	3	3	1	4	4	2
	ミュンヘン大学	-	-	2	2	2	1
ロシア	クバン国立大学	-	-	-	2	2	2
	ウラル連邦大学	-	-	-	1	1	1
	太平洋国立大学	-	-	-	-	2	1
カザフスタン	カザフ国立大学	-	-	-	-	-	-
中国	天津外国語大学	1	1	1	1	1	1
	東北師範大学	-	-	-	2	2	2
	北京語言大学	-	-	-	2	2	2
スペイン	サラマンカ大学	1	2	2	2	2	2
	サラゴサ大学	-	-	2	2	2	2
	マドリード自治大学	-	-	1	0	1	0
交換留学合計		13	13	18	27	30	26

【長期派遣(認定)留学(2013~2018年度)】

国名	留学先	2013	2014	2015	2016	2017	2018
アメリカ	アパラチアン州立大学		1				
	アメリカン大学				1		
	イースタンワシントン大学	4	3	1	5	2	
	ウェバー国際大学						1
	エヴァンスビル大学			1			
	エルマイラ大学		2	1*			
	カリフォルニア州立大学		2				
	カリフォルニア州立大学チコ校					1	
	キャロルカレッジ				1		
	クラリオン大学			1			
	コーネル大学			1			
	サザン・オレゴン大学	1					
	ニューヨーク州立大学バッファロー校	1					
	ニューヨーク州立大学オールバニ					1	
	バークレー大学						1
	ハートウィック大学						1
	バルパライソ大学						1
	ハワイ大学					1	
	ペンシルベニア州立大学						1
	ミネソタ州立大学	2	2				
リンデンウッド大学ベレヴィル						1	
イギリス	ノーサンブリア大学	1					
	ミドルセックス大学	1					
	ランカスター大学			1			
	リーズ大学	1	2	5	2	4	2
	ブリストル大学					1	
	エジンバラ大学			1			
	エセックス大学						1
オーストラリア	グリフィス大学						1
	サザンクロス大学			1	2	1	2
	ディーキン大学		1				
	ニューサウスウェールズ大学						1
マッコーリー大学			1				
カナダ	バンクーバー・アイランド大学	1	1	1	1		
	メディシンハット大学	1	4	1	1	3	1
	レジャイナ大学		2	1	1		
	ヴィクトリア大学				1		
フィンランド	ヘルシンキ大学	1					
フランス	リヨン第三大学				1		
ロシア	サンクト・ペテルブルク大学	5	1	1	2	3	
	国立プーシキン記念ロシア語大学		2	1	1	2	2
	モスクワ国立大学	2	5	3	4	3	
	クバン国立大学		1			1	
	ウラル連邦大学		1		1		
	太平洋国立大学		2	1		1	
	カザン大学					1	
	リヤザン国立大学					1	
	ロバチェフスキー州立大学 ニジニノヴゴロド					1	
	ハバロフスク国立教育大学	1					
	モスクワ国際関係大学				1		
ゲルツェン記念ロシア国立教育大学						1	
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学			1			

※2015年の留學生数にはエルマイラ大学ダブル・ディグリー2年目の学生を含む(*印)。

中国	清華大学	1					
	東北師範大学		1	1		2	2
	復旦大学		2	7	4	5	3
	上海交通大学		1				
	上海師範大学		1	2	1	2	
	天津外国語大学		1				
	南京師範大学		1				
	北京外国語大学	1					
	北京第二外国語学院	1					
	北京語言大学	2	1	4	1	5	3
	北京師範大学	1	2				1
	北京大学	1					
	北京航空航天大学	1					
	大連理工大学						1
	華東師範大学						1
	中山大学			1			
	香港大学	1					
台湾	国立台湾大学		1				
	国立成功大学			1			
	国立政治大学			1	1		
スペイン	アルカラ大学	1	1		1	1	
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター		1		1	1	
	国立通信教育大学	2				2	
	サラマンカ大学	1		1	3	1	
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学		2			1	
	ラ・リオハ大学		2		2		
	サラゴサ大学				1		
	バリャドリッド大学				1		
	マラガ大学					1	
	グラナダ大学				1		
メキシコ	メキシコ国立自治大学				1		
コロンビア	国立コロンビア大学		1				
長期派遣(認定)留学合計		35	50	42	43	49	27

【スペイン語圏派遣留学 (2013~2018 年度)】

国名	留学先	2013	2014	2015	2016	2017	2018
スペイン	アルカラ大学	1	2	1	2		2
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター	1		1	1	1	2
	国立通信教育大学	3					
	サラマンカ大学	1					
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	1		1	1		
	ラ・リオハ大学	3	6	2	8	5	3
メキシコ	メキシコ国立自治大学					2	2
スペイン語圏派遣留学合計		10	8	5	12	8	9

【短期派遣留学 (2013~2018 年度)】

国名	留学先	2013	2014	2015	2016	2017	2018
アメリカ	UCLA Extension	11	9	10	7	6	5
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	26	19	22	23	13	28
ロシア	モスクワ大学(夏季)	7	8	4	5	4	3
	モスクワ大学(春季)	0	1	2	5	5	2
中国	北京語言大学	5	10	7	9	4	7
スペイン	国立通信教育大学(夏季)	0	4	7	2	2	5
	国立通信教育大学(春季)	0	4	4	2	2	1
短期派遣留学合計		49	55	56	53	36	51

【休学による留学・語学研修等（2018年度実績：大学把握分）】

	大学 学部・ 短期 大学	ラン グエー ジセ ンター 等の 大学 附置 施設	民間 等 の 語学 学校	専 門 学 校 レ ベ ル	不明 ・ その 他	合計
カナダ	4	2	33	2	0	41
オーストラリア	3	1	24	0	0	28
イギリス	8	0	14	0	0	22
アメリカ	7	0	10	0	0	17
中国(マカオを含む)	15	0	0	0	0	15
アイルランド	1	0	12	0	0	13
ニュージーランド	1	0	7	1	0	9
スペイン	1	1	5	0	1	8
フィリピン	1	0	5	0	0	6
ロシア	3	0	1	0	0	4
デンマーク	0	0	3	0	1	4
マレーシア	1	0	2	0	0	3
シンガポール	1	0	1	0	0	2
メキシコ	0	1	1	0	0	2
台湾	1	0	0	0	0	1
フランス	0	0	1	0	0	1
フィジー	0	0	1	0	0	1
イタリア	1	0	0	0	0	1
韓国	1	0	0	0	0	1
ペルー	1	0	0	0	0	1
フィンランド	0	1	0	0	0	1
カザフスタン	1	0	0	0	0	1
キルギス	1	0	0	0	0	1
不明	0	0	0	0	1	1
合計	52	6	120	3	3	184

【海外インターンシップ】

	2014	2015	2016	2017	2018
city'super香港インターンシップ派遣プログラム	2	2	5	2	2
上海インターンシップ			7	0	8

【トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム】

	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム	1	0	1	4	1	0	3	1	2	2

4-2 国際交流協定

■学生・教員の交流協定締結機関

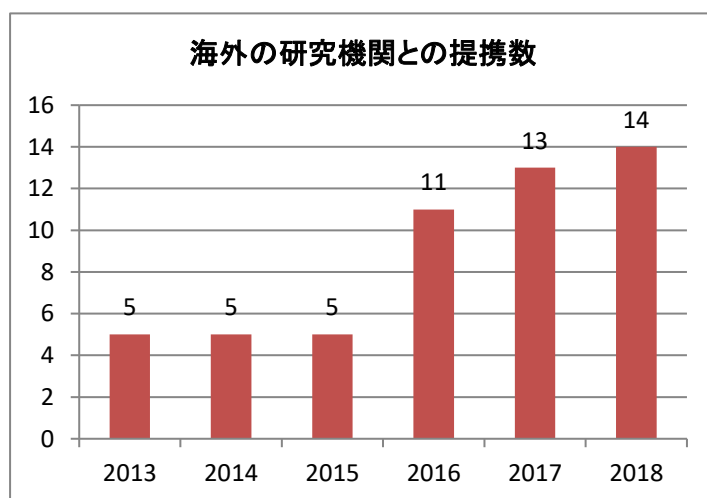
計 12 カ国 41 大学等

☆は 15 年度、※は 16 年度、★は 18 年度の新規提携

国名	大学名	初回締結	学生交換	認定 (長期派遣)	短期派遣	教員交換
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	1981.12	若干名	○		
	エルマイラ大学 (ダブルディグリー)	2001.5		○		
	オーガスタナ大学	2011.8	若干名	○		
	★オレゴン州立大学	2019.1		○		
	UCLA Extension	2009.3			○	
イギリス	ノーサンブリア大学	2011.11		○		
	ランカスター大学	2001.7		○		
	リーズ大学	2007.9		○		
	ニューカッスル大学	2014.7	2名	○		
	☆ヨークセントジョン大学	2015.8	2名	○		
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	2013.5	2名			○
オーストラリア	ディーキン大学	2007.10		○		
	モナッシュ大学 (ダブル・マスター)	2014.3				
	ニューサウスウェールズ大学	2014.4		○		
	☆サザンクロス大学	2015.7		○		
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	2010.5			○	
カザフスタン	★カザフ国立大学	2018.7	2名			
カナダ	メディシンハット大学	2009.11	1名	○		
	レジャイナ大学	2012.1	2名	○		
スペイン	アルカラ大学	1994.6		○		○
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター	1989.11		○		
	サラマンカ大学	2013.6	2名	○		
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	2007.4		○		
	セゴビア市及び国立通信教育大学	2009.12		○	○	
	マドリード自治大学	2014.1	1名	○		
	ラ・リオハ大学	2007.10		○		
	サラゴサ大学	2014.10	2名	○		
★ナバラ大学 (ダブル・マスター)	2018.8	院生 2名				
中国	上海師範大学	2012.10		○		○
	天津外国語大学	1983.7	1名	○		
	☆東北師範大学 (15年度学生交換開始)	2011.12	1-2名	○		○
	復旦大学	1995.12		○		○
	☆北京語言大学 (15年度学生交換開始)	2008.9	1-2名	○	○	○
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	2012.6	4名			
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	2013.10	2名			
メキシコ	メキシコ国立自治大学	2015.3		○		
ロシア	国立プーシキン記念ロシア語大学	2001.11		○		
	モスクワ大学ロシア語ロシア文化学院	1967 2006.2		○	○	○
	☆ウラル連邦大学	2015.4	1名	○		
	☆クバン国立大学	2015.4	2名	○		
	※太平洋国立大学	2016.6	2名	○		

■海外の研究機関等との提携

国名	締結先	締結時期	備考
フランス	国立高等研究院	2008.3	
中国	青海民族大学外国語学院	2012.3	
中国	雲南民族博物館	2013.2	
タイ	マヒドン大学	2014.12	
ロシア	ウラル連邦大学	2015.4	学生・教員の交流協定に学術協力 (交流)に関することを含む
ロシア	クバン国立大学	2015.4	
スイス	ベルン大学	2015.10	
スペイン	バスク大学	2016.4	2008年4月に締結した交流協定に学術協力 (交流)に関することを追加
ロシア	太平洋国立大学	2016.6	学生・教員の交流協定に学術協力 (交流)に関することを含む
カナダ	メディシンハット大学	2017.1	
カナダ	レジャイナ大学	2017.3	
英国	ロンドン大学 東洋アフリカ研究学院 (SOAS)	2018.2	
スペイン	ナバラ大学	2018.3	
インド	インド工科大学 グワハーティー校	2019.2	



5 地域貢献・地域連携

5-1 地域行政、団体などとの協力

2018年5月現在

【神戸市の行政、団体などとの協力（5機関）】

提携先の機関名	主な内容
神戸市教育委員会	市教委と本学教職課程及び英語教育学専攻を中心にした連携。市内の小中高校の教員研修や、児童・生徒の国際教育・交流事業（小学生の外大訪問、中学生のイングリッシュサマースクールやイングリッシュフェスティバルなど）
（公財）神戸国際協力交流センター	市民の国際理解教育などの事業協力（神戸市国際交流フェアへの本学協力や、本学の市民対象のオープン・セミナーの三宮会場提供など）
神戸市立博物館	大学教員と博物館学芸員の連携による市民向けの講演会の共同実施など
神戸市西区	防災・福祉・文化・教育・国際交流・地域活性化など、地域の特性に応じたきめ細かいまちづくりのための連携や、施策推進、それぞれの主催事業に対する相互の協力など
神戸新聞文化センター	公開講座の共同開催

【上記以外の国内の大学との協力、大学間連携に関する連携（5機関）】

提携先の機関名	主な内容
東京外国語大学	大学院教育交流や学部の入試広報事業
神戸大学大学院文学研究科	単位互換授業
神戸研究学園都市大学交流推進協議会（ユニティ）	単位互換授業や共同研究、地域の市民や高校生向けの講座提供など多岐にわたる連携交流事業
大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流事業などに協力
全国外大連合	教育研究の内容に応じたさまざまな連携。学生、教員・職員及び研究者の交流を通じた教育研究の水準向上

5-2 市民講座・公開講座等

■神戸市外国語大学提携講座

2018年8月に神戸新聞文化センターと連携協力に関する協定を締結し、後期より「市民講座」、「オープンセミナー」を統合し、「神戸市外国語大学提携講座」として神戸新聞文化センター（三宮ミント神戸）にて開講している。

講座名	講師	回数	受講者数
ネイティブが教える映像で学ぶ楽しいドイツ語	フランツ教授	全12回	9人
皮肉で愉快的なパロディ精神 イギリス文学の隠し味	御輿名誉教授	全4回	29人
ネイティブが教えるやさしいロシア語 ～文化・美術・スポーツ	非常勤講師	全12回	11人

■オープンセミナー

2018年度は前期のみ開講。来年度からは、神戸市外国語大学提携講座に統合される。

種別	講座名	講師	回数	受講者数
語学講座	The biology of meaning	カンパナ名誉教授	12回	13人
語学講座	ロシア語（初級）	非常勤講師	12回	12人
教養講座	国際視点から見た現代社会の諸相：戦争、人権、日本人性	山口（征）准教授 西出准教授、篠田教授、玉井教授	4回	21人
教養講座	戦後日本文化の巨匠たち：私たちはどう生きてきたか	山本准教授	4回	8人
教養講座	信託という法制度について	植田教授	4回	4人

■市民講座

2018年度より中止し、神戸市外国語大学提携講座に統合した。

■公開講座（ユニティ）

ユニティに加盟する5大学1高専が、得意とする分野をテーマに、毎年市民を対象とした講座を開講している。

2018年度 「スペインの文化多様性」 4月7日～5月12日（毎土曜日） 総受講者数 330人

1	スペインにはいくつもの「国」がある？－歴史・政治的対立・ヨーロッパの現状	サンス教授
2	スペインの文化多様性と建築	成田教授
3	スペインの諸言語とスペイン語のバリエーション	川口准教授
4	民族伝承から見たマドリッド	ロメロ准教授
5	バスクの言語と文化	客員研究員

※ユニティ・・・神戸の学術文化の拠点として、神戸研究学園都市周辺にある5大学1高専が、教室や会議室などを備えた大学共同利用施設「UNITY」を設置し運営している。

5-3 学生ボランティア活動

■2018年度学生ボランティア活動実績

分野	人数	内容
子どもの教育・生活	258	障がいのある子どもたちのお楽しみ会、小学校の大学訪問引率、小中学生の学習支援、子ども対象の地域イベント運営手伝い
国際交流	142	中学生の英語活動のサポート、海外からの国際会議出席者への観光案内、回収古着での海外支援、スポーツ国際大会での海外選手のアテンド
お年寄り支援	98	ボランティアコーナー学生スタッフによるおしゃべり交流活動
地域振興	94	地域の各種団体主催イベントへの協力
出演協力	68	学生サークルなどが地域のイベント等に出演
被災地復興支援	32	被災地に出向いての活動や古本回収・募金活動による支援
自然環境保護	2	外大裏山の森林整備
障がい者支援	1	障がい者の業務スキルコンテスト運営手伝い
合計	695	

<学生の大学サポート活動>

分野	人数	内容
学生支援	78	留学生の生活や日本語学習補助など
大学環境整備	57	花壇の花植えや水遣りなど
オープンキャンパス	12	オープンキャンパスでの来訪者対応
合計	147	

<参考:有償の地域協力活動>

活動名	人数	内容
シルバーカレッジでの交流事業(秋)	10	留学生がシルバーカレッジの受講者に異文化を紹介
交通局職員の外国語会話教室	8	交通局職員のための英会話、中国語会話教室運営
シルバーカレッジでの交流事業(冬)	7	留学生がシルバーカレッジの受講者に異文化を紹介
垂水区 英会話カフェ	5	垂水区役所の職員に英語のレッスン
南明石高校「留学生を囲む会」	5	高校生と留学生の交流
滝川高校 イングリッシュパーク	2	滝川高校の生徒に英語のレッスン
合計	37	

6 教職員

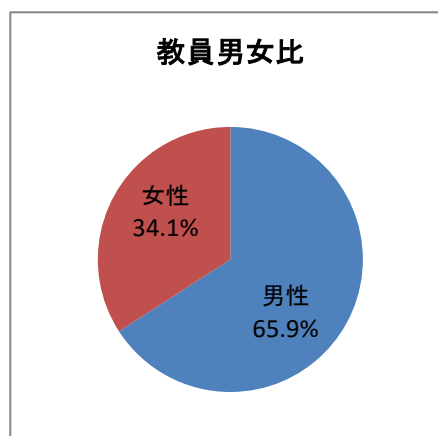
6-1 教員数

■職位別（2018年5月1日現在）

学科別	学長	教授	准教授	講師	計
英米学科		16	6		22
ロシア学科		3	4		7
中国学科		4	3		7
イスパニア学科		3	2	1	6
国際関係学科		11	11		22
総合文化グループ	1	11	9		21
合計	1	48	35	1	85

■男女別（2018年5月1日現在）

学科別	男性	女性	計
英米学科	14	8	22
ロシア学科	4	3	7
中国学科	4	3	7
イスパニア学科	3	3	6
国際関係学科	16	6	22
総合文化グループ	15	6	21
合計	56	29	85



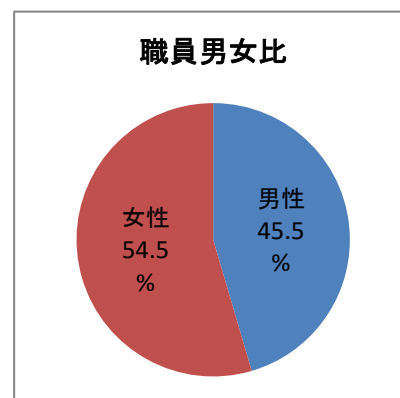
■外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合（2018年5月1日現在）

	人数	割合
全教員	85人	
①外国籍の教員	14人	16.5%
②外国の大学で学位を取得した日本人教員	20人	23.5%
③外国で通算1年以上(3年未満)の教育研究歴がある日本人教員	20人	23.5%
④外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員	2人	2.4%
①～④の合計	56人	65.9%

6-2 職員数

■所属別・男女別（2018年5月1日現在）

所属	男性	女性	計
経営企画G	20	8	28
学生支援・教育G	9	17	26
研究所G	3	10	13
学術情報センターG	3	7	10
合計	35	42	77



7 財務状況

■財務状況の推移

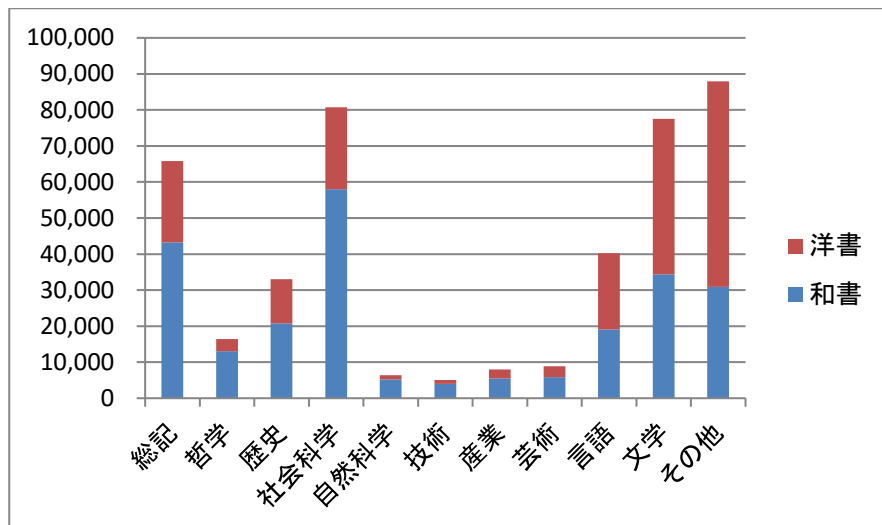
(単位：百万円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
経常費用	2,278	2,263	2,341	2,457	2,438	2,339
業務費	2,078	2,012	2,138	2,258	2,183	2,154
教育経費	249	209	233	242	230	256
研究経費	86	62	65	59	60	61
教育研究支援経費	100	82	89	99	83	67
受託研究費等	-	-	-	-	-	0
受託事業費	0	3	0	0	0	0
人件費	1,643	1,656	1,751	1,858	1,810	1,769
一般管理費	199	249	200	196	253	184
財務費用	1	2	2	2	1	1
経常収益	2,382	2,320	2,382	2,491	2,485	2,380
運営費交付金収益	1,115	1,030	1,072	1,155	1,162	1,102
学生納付金収益	1,127	1,146	1,162	1,165	1,168	1,128
授業料収益	911	926	951	950	955	904
入学金収益	183	183	181	178	182	185
検定料収益	34	37	30	38	31	38
受託研究等収益	-	-	-	-	-	0
受託事業等収益	0	3	0	0	0	0
補助金等収益	-	-	-	0	0	0
寄付金収益	14	8	14	25	9	9
資産見返負債戻入	84	89	88	90	82	80
その他の収益	41	44	46	56	63	60
財務収益	3	4	4	2	2	2
雑益	38	40	42	54	61	58
経常利益(損失)	104	57	41	35	47	41
臨時損失	0	-	-	-	-	0
臨時利益	0	0	0	-	-	19
当期純利益(損失)	104	57	41	35	47	60
前中期目標期間繰越 積立金取崩額	-	10	10	14	14	14
目的積立金取崩額	-	-	-	3	9	-
当期総利益(損失)	104	67	51	51	70	74

※四捨五入により合計が合わない場合がある。

8 図書館

■蔵書冊数：430,031冊（和書：239,993冊 / 洋書：190,038冊）



■図書館利用状況（2013～2018年度）

	2013	2014	2015	2016	2017	2018
入館者数(人)	163,727	165,601	176,062	166,208	157,350	151,273
貸出冊数(冊)	42,933	45,327	44,110	42,031	44,625	42,462

2018年度入館者数（内訳：人）

	学部生	大学院生	教職員	卒業生	市民	合計
入館者数	122,690	6,803	14,965	1,458	5,357	151,273

2018年度貸出冊数（内訳：冊）

	学部生	大学院生	教職員	卒業生	市民	合計
貸出冊数	28,574	3,518	3,706	1,060	5,604	42,462

2018年度市民利用制度利用状況

	日数	登録者数	入館者数	貸出冊数
市民利用状況	208	281	5,357	5,604

※日数は211日の予定だったが、悪天候による臨時閉館のため208日となった。